

令和7年度
志摩市まちづくりアンケート調査
報告書



令和8年5月
志摩市政策推進部総合政策課

目 次

1 調査の概要

1.1 調査の目的	1
1.2 調査の方法	1
1.3 回収結果	1
1.4 報告書の見方	1

2 調査の分析

2.1 日頃感じている幸福感について	2
2.2 志摩市への愛着・定住意向について	6
2.3 誰もがいきいきと暮らせるまちづくりについて	11
2.4 人口減少・少子高齢化に対応したまちづくりについて	17
2.5 防災・減災について	20
2.6 行政デジタル化について	22
2.7 市からの広報手段について	23
2.8 志摩市のまちづくり全般へのご意見について	34
2.9 あなたご自身のことについて	37

調査の概要

1.1 調査の目的

市がこれまで取り組んできた施策の効果検証や、今後の施策の方向性を検討するため、市民の意識・意見を把握するアンケート調査（幸福度調査の項目を含む）を実施。

1.2 調査の方法

- (1) 調査名称 : 新しい志摩市総合計画策定のための「まちづくりアンケート調査」
- (2) 調査対象 : 志摩市全域
- (3) 標本数 : 3,000人
- (4) 抽出方法 : 住民基本台帳から無作為に抽出
- (5) 調査方法 : 郵送送付・郵送回収及びインターネット回答調査
- (6) 調査実施期間 : 令和8年2月17日～3月9日
- (7) 調査実施機関 : 志摩市 政策推進部 総合政策課

1.3 回収結果

有効回収数 : 1,190件（郵送回収：741件、インターネット回答：449件）

有効回収率 : 39.7%

地区別回収結果

居住地	配布数	回収数	回収率
浜島町	223	92	41.3%
大王町	355	136	38.3%
志摩町	573	216	37.7%
阿児町	1,427	548	38.4%
磯部町	422	166	39.3%
不明・無回答	—	32	—
合計	3,000	1,190	39.7%

1.4 報告書の見方

- (1) 集計は、小数点以下第2位を四捨五入している。従って、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
- (2) 2つ以上の回答（複数回答）を要する質問の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合がある。
- (3) 図表中に表す「N」は比率算出上の基数（標本数）である。全標本数ベースを示す「全体」を「N」、該当数ベースを「n」で表記している。
- (4) 自由記述の集計においては、1つの意見に複数の内容が記述してある場合、それぞれの項目でカウントしている。

調査の分析

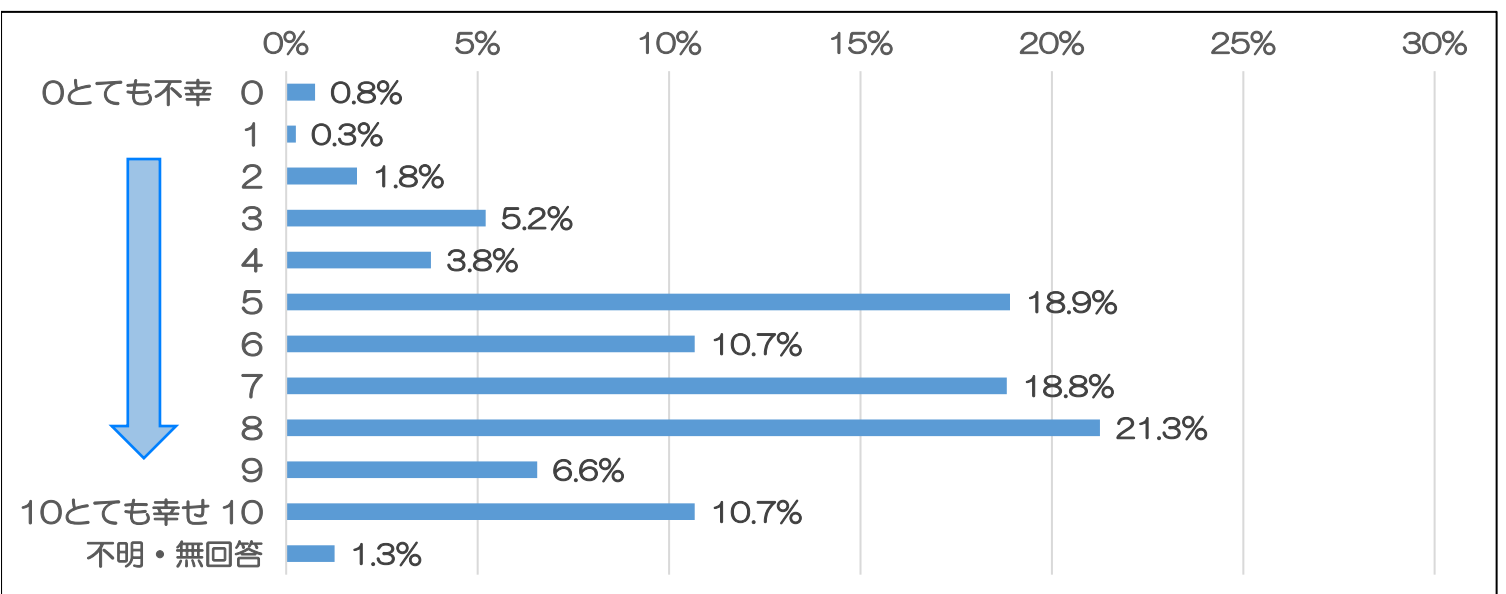
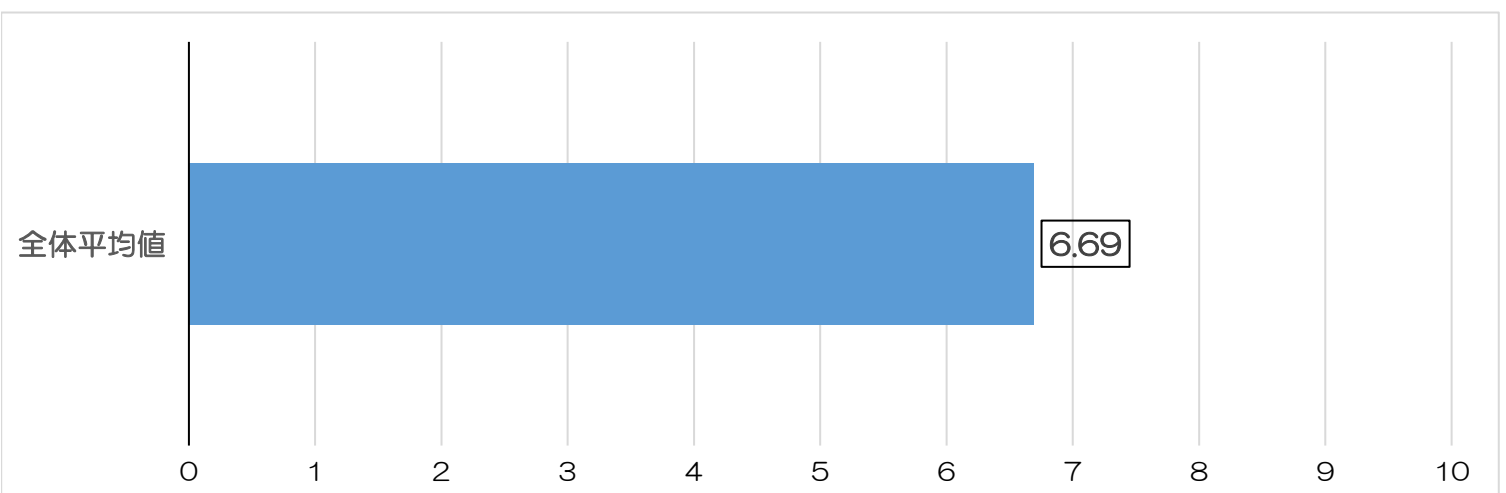
1.日頃感じている幸福感について

問1. 現在、あなたはどのくらい幸せですか？「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか？

とても不幸 0点 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10点 とても幸せ

【結果】

幸福度は平均6.69点となっており、全体として「幸せ」を感じている人が多い状況です。点数ごとの割合を見ると、一番多かったのは「8点（21.3%）」でした。これに「5点（18.9%）」と「7点（18.8%）」が続いており、真ん中以上の高い点数に回答が集中しています。「とても幸せ」を表す10点（10.7%）と9点（6.6%）を合わせた、かなり幸福度が高い層も全体の約2割（17.3%）にのぼり、多くの方が毎日の生活に満足している様子がうかがえます。一方で、低い点数（0～2点）をつけた方はごくわずか（合わせて2.9%）にとどまっています。



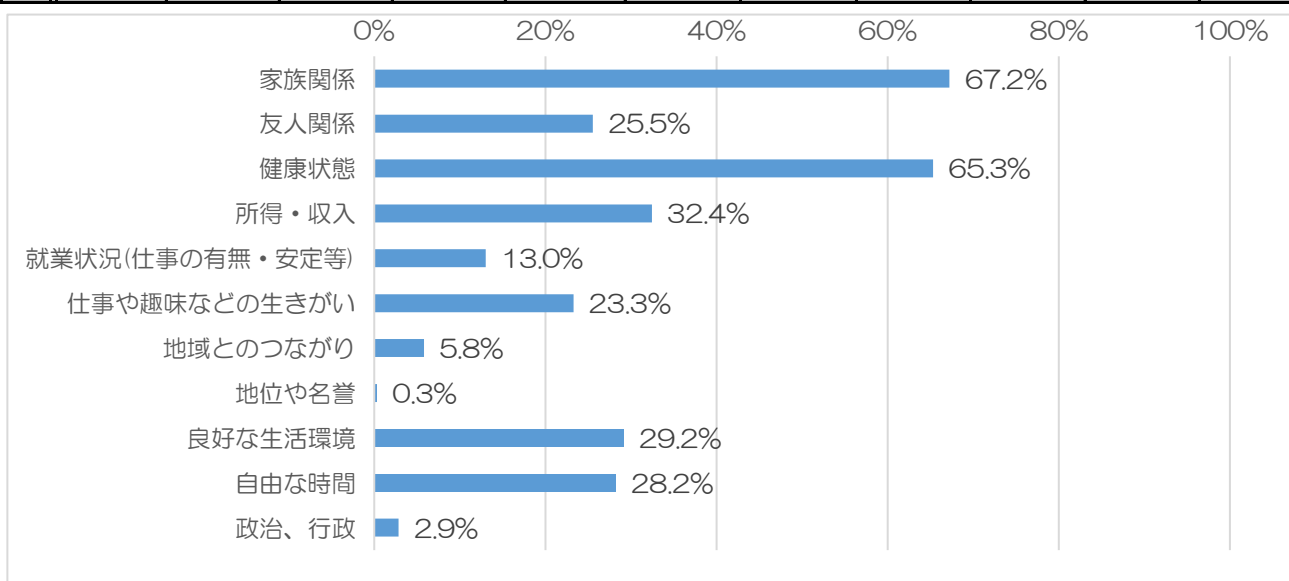
問2. 幸福感を判断する際に重視したことは何ですか？次の中からあなたの考えに近いものを3つ選んでください。（3つ選択）

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1.家族関係 | 2.友人関係 |
| 3.健康状態 | 4.所得・収入 |
| 5.就業状況(仕事の有無・安定等) | 6.仕事や趣味などの生きがい |
| 7.地域とのつながり | 8.地位や名誉 |
| 9.良好な生活環境 | 10.自由な時間 |
| 11.政治、行政 | |

【結果】

幸福感を判断するときに、一番多かったのは「家族関係（67.2%）」と「健康状態（65.3%）」の2つでした。どちらも6割を超えて高い割合を占めており、身近な絆や心身の健康が、幸せの土台として深く関わっていることが分かります。これらに続いて、「所得・収入（32.4%）」、「良好な生活環境（29.2%）」、「自由な時間（28.2%）」がそれぞれ約3割で挙がっています。心身の安定に加え、生活のゆとりや経済的な安定も、幸福度を高める大切な要素として意識されているようです。

	家族関係	友人関係	健康状態	所得・収入	就業状況 (仕事の有無・安定等)	仕事や趣味などの生きがい	地域とのつながり	地位や名誉	良好な生活環境	自由な時間	政治、行政
全体	67.2%	25.5%	65.3%	32.4%	13.0%	23.3%	5.8%	0.3%	29.2%	28.2%	2.9%



(N= 1,190)

問3. あなたの幸福感を高めるために有効な手立は何ですか？次の中からあなたの考えに近いものを2つ選んでください。(2つ選択)

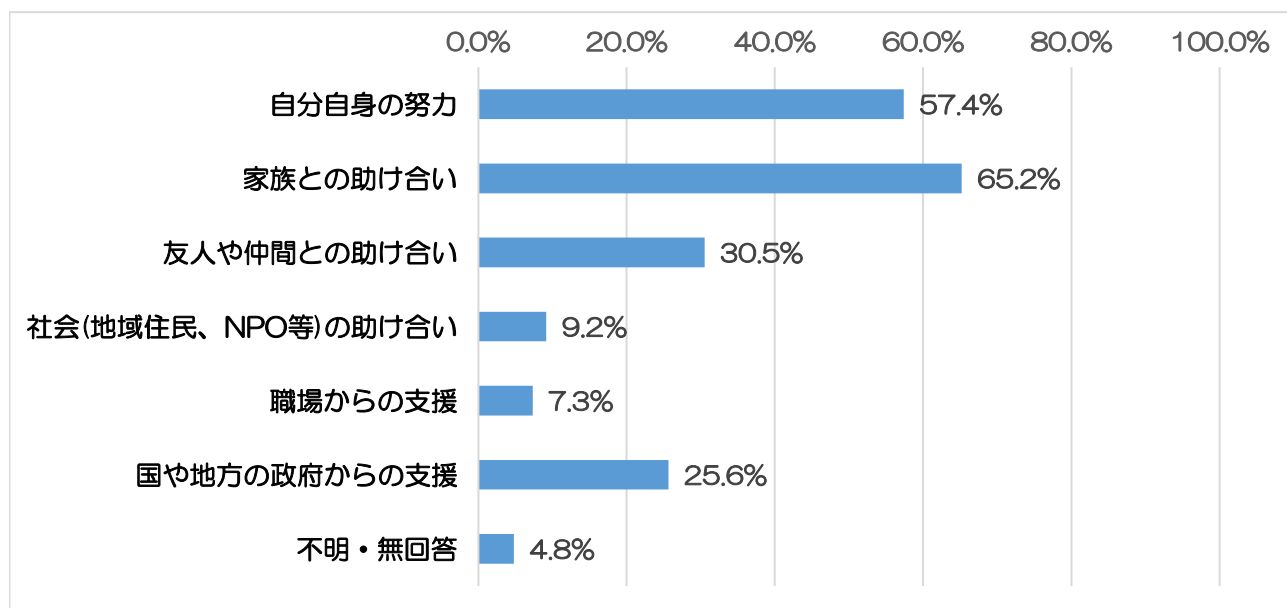
- | | |
|---------------|----------------------|
| 1.自分自身の努力 | 2.家族との助け合い |
| 3.友人や仲間との助け合い | 4.社会(地域住民、NPO等)の助け合い |
| 5.職場からの支援 | 6.国や地方の政府からの支援 |

【結果】

身の幸福感を高めるために、一番多かったのは「家族との助け合い（65.2%）」で、これに「自分自身の努力（57.4%）」が続いており、どちらも過半数を占めています。まずは身近な人たちと支え合うことや、自分自身の取り組みによって幸せを高めていこうとする姿勢が分かります。

これらに次いで、「国や地方の政府からの支援（25.6%）」が挙げられています。公的な支援に対しても期待が寄せられているようです。

	合計	自分自身の努力	家族との助け合い	友人や仲間との助け合い	社会（地域住民・NPO等）の助け合い	職場からの支援	国や地方の政府からの支援	不明・無回答
全体	1,190	683	776	363	109	87	305	57
	100.0%	57.4%	65.2%	30.5%	9.2%	7.3%	25.6%	4.8%



(N= 1,190)

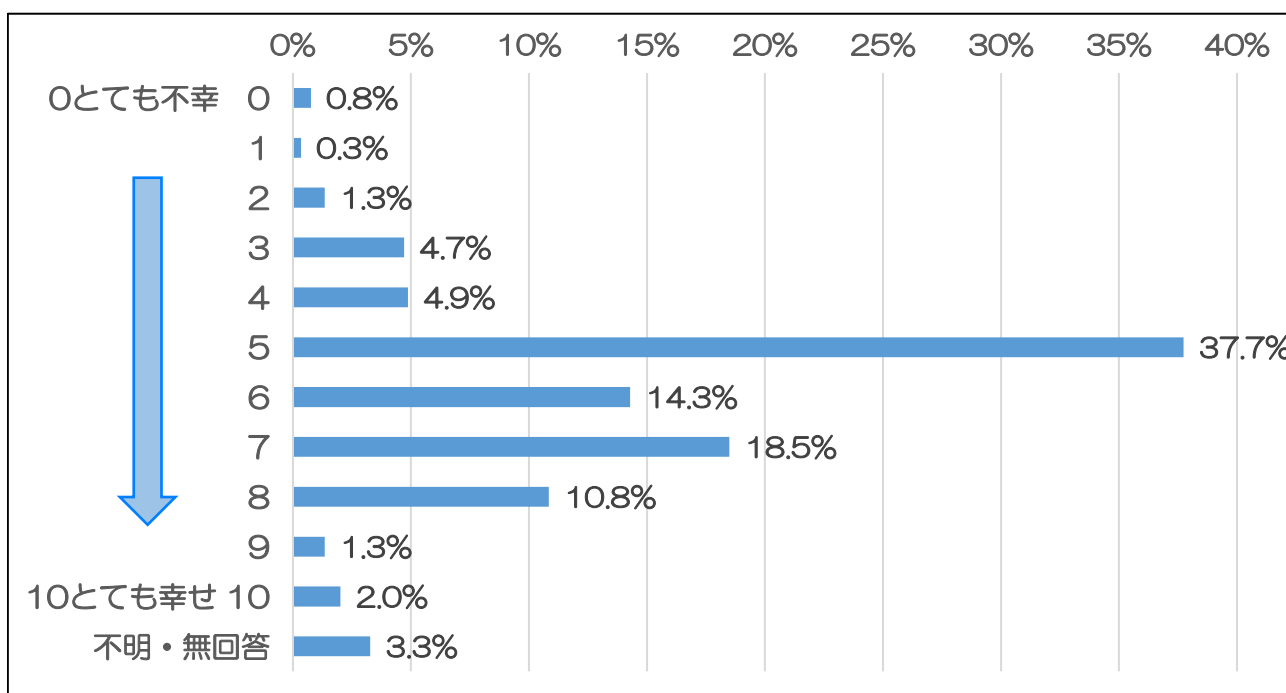
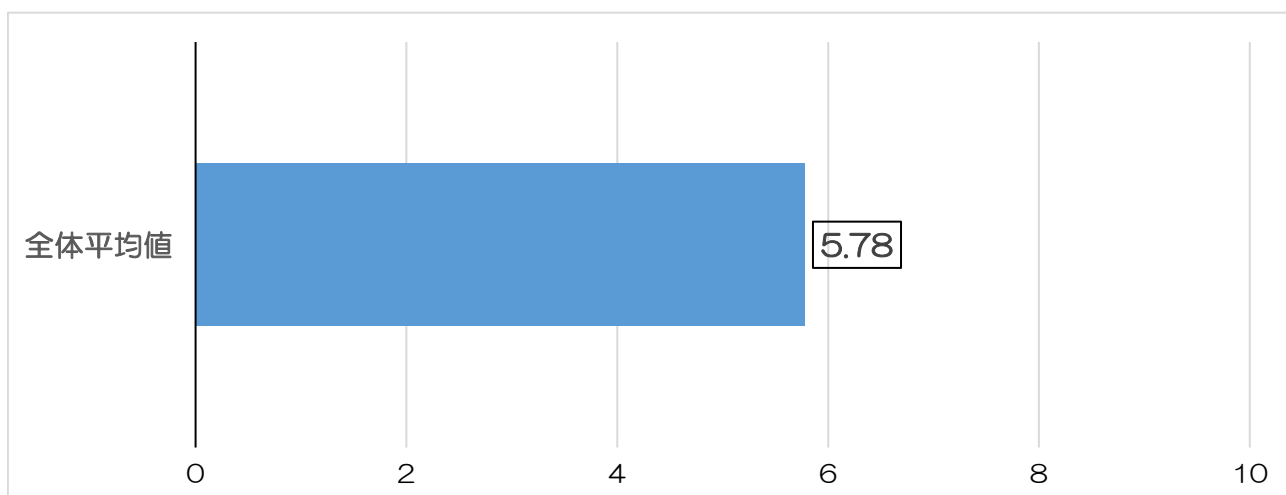
問4. あなたの地区内(集落)の人々は、どれくらい幸せだと思いますか？
「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになる
と思いますか？

とても不幸 0点 1 2 3 4 5 6 7 8 9 とても幸せ 10点

【結果】

自身が感じる幸福度（平均6.69点）と比べると、地域住民全体の幸福度は平均5.78点と、少し低めに捉えられているようです。

点数ごとの割合を見ると、一番多かったのは「5点（37.7%）」でした。これに「7点（18.5%）」と「6点（14.3%）」が続いており、真ん中の5点に回答が大きく集まっています。自分自身の幸せに比べると、周りの人たちの幸福度については、真ん中あたりの点数であることが分かります。



(N= 1,190)

2. 志摩市への愛着・定住意向について

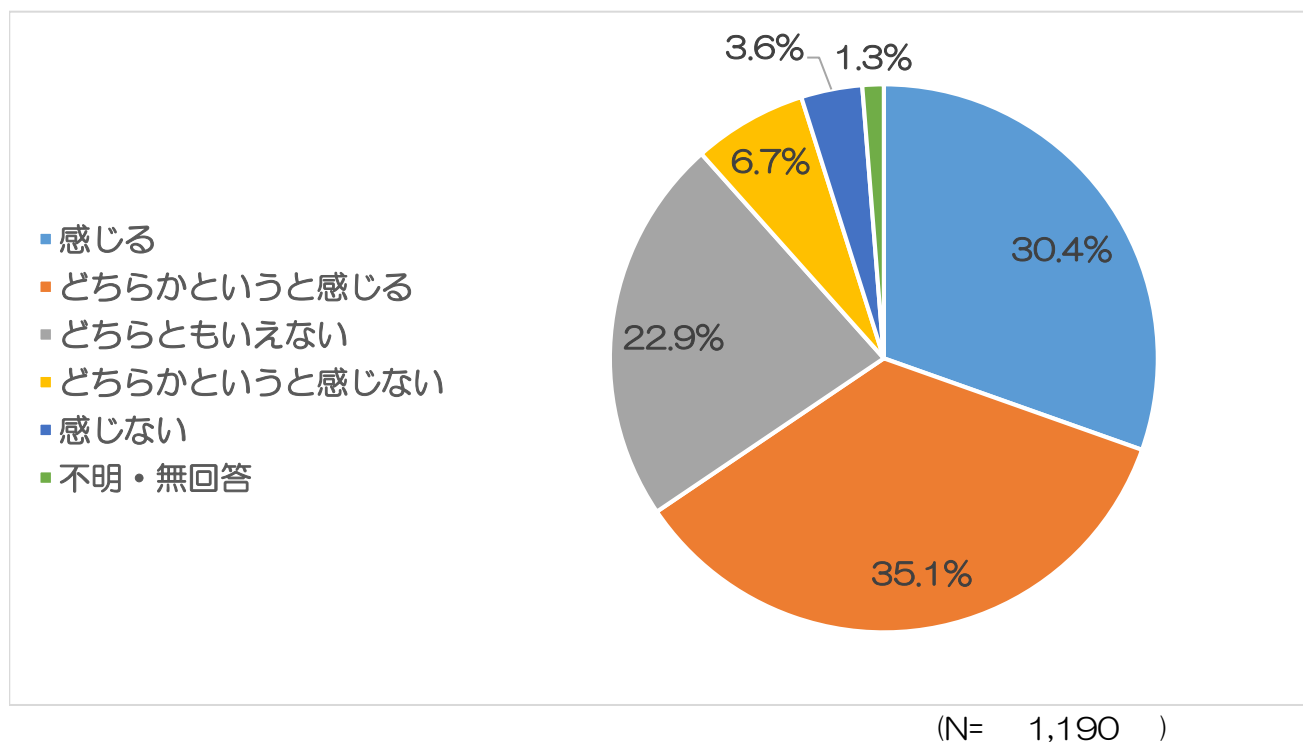
問5. あなたは、志摩市に愛着や誇りを感じますか？（1つ選択）

- | | |
|-------------|----------------|
| 1.感じる | 2.どちらかというと感じる |
| 3.どちらともいえない | 4.どちらかというと感じない |
| 5.感じない | |

【結果】

市への愛着や誇りについて割合を見ると、一番多かったのは「どちらかというと感じる（35.1%）」でした。これに「感じる（30.4%）」が続いており、これら2つを合わせた全体の65.5%と、多くの人々が好意的な印象を持っていることが分かります。その一方で、「どちらともいえない（22.9%）」という中立的な意見も一定の割合を占めていることが分かります。

	合計	感じる	どちらかというと感じる	どちらともいえない	どちらかというと感じない	感じない	不明・無回答
全体	1,190	362	418	272	80	43	15
	100.0%	30.4%	35.1%	22.9%	6.7%	3.6%	1.3%



問6. あなたは、志摩市の魅力（誇れること）を人に伝える（語る）
ことができますか？（1つ選択）

1.はい

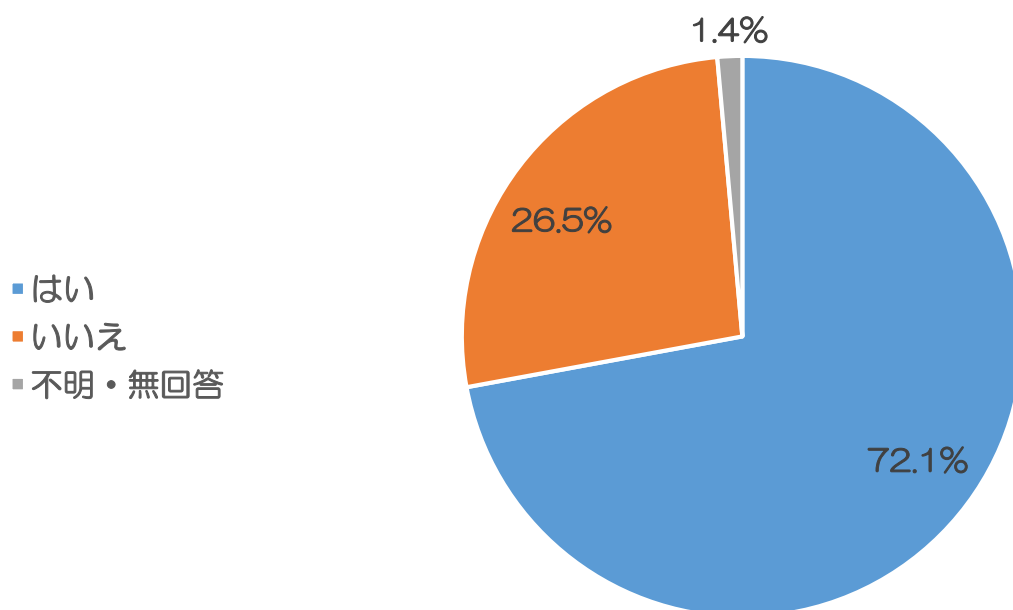
2.いいえ

【結果】

志摩市の魅力を「伝える（語る）ことができる」と答えた割合を見ると、一番多かったのは「はい（72.1%）」でした。多くの人が市の持つ魅力や価値を認識しているという事実が分かります。

一方で、「いいえ（26.5%）」という回答も約3割を占めており、市民の間で魅力の捉え方にそれぞれ違いがあることがわかります。

	合 計	は い	い い え	不 明 ・ 無 回 答
全体	1,190	858	315	17
	100.0%	72.1%	26.5%	1.4%



(N= 1,190)

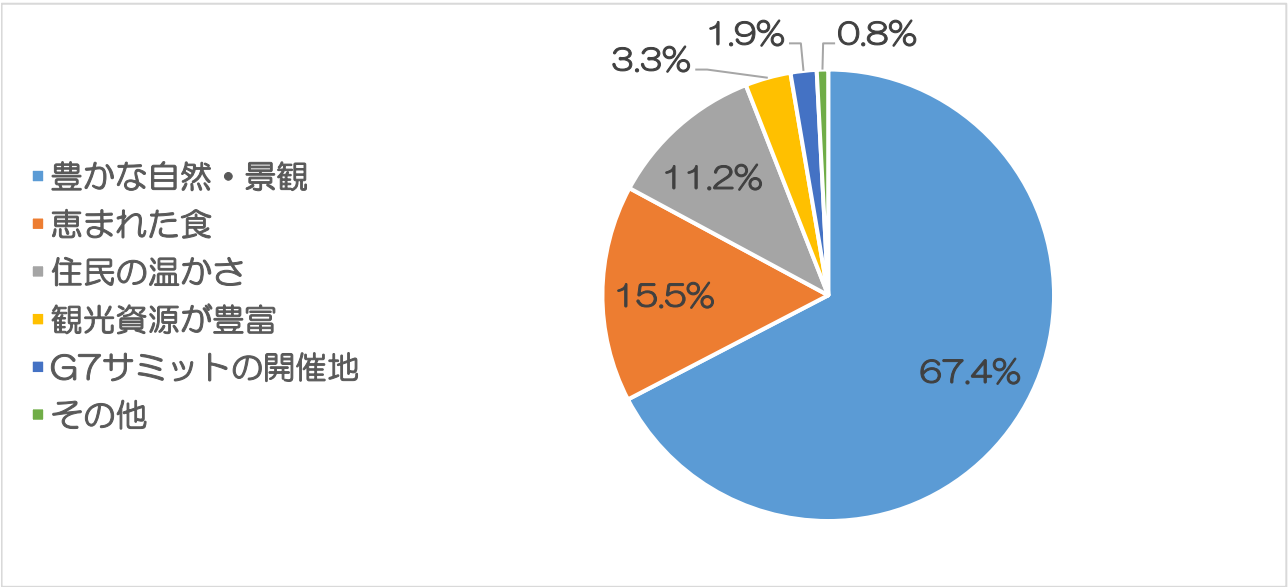
副問. (問6で「1.はい」を選んだ方にお聞きします。)
志摩市の一番の魅力(誇れること)を教えてください。(1つ選択)

1.豊かな自然・景観	2.恵まれた食
3.住民の温かさ	4.観光資源が豊富
5.G7サミットの開催地	6.その他

【結果】

志摩市の魅力を伝えることができると答えた人の中で、一番多かったのは「豊かな自然・景観（67.4%）」でした。これに「恵まれた食（15.5%）」、「住民の温かさ（11.2%）」が続いています。
全体の7割近くが自然や景観を挙げており、食や住民の人柄と合わせ、これらの要素が市民にとっての主な魅力として認識されていることが分かります。

	合計	豊かな自然・景観	恵まれた食	住民の温かさ	観光資源が豊富	G7サミット開催地	その他
全体	858	578	133	96	28	16	7
	100.0%	67.4%	15.5%	11.2%	3.3%	1.9%	0.8%



＜その他（自由記述）の主な内容＞

(N= 858)

- ・温暖な気候
- ・伊勢神宮との繋がり
- ・ほどよく田舎
- ・交通の便、名古屋・大阪への中間地域
- ・ヤバイTシャツ屋さんが観光大使
- ・空気がきれい

問7.あなたは、現在の志摩市が暮らしやすいと思いますか？（1つ選択）

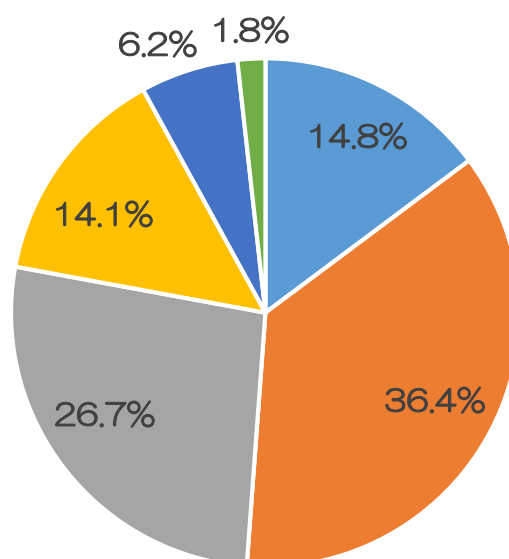
- | | |
|-------------|-----------------|
| 1.暮らしやすい | 2.どちらかという暮らしやすい |
| 3.どちらともいえない | 4.どちらかという暮らしにくい |
| 5.暮らしにくい | |

【結果】

暮らしやすさの割合を見ると、一番多かったのは「どちらかという暮らしやすい（36.4%）」でした。これに「暮らしやすい（14.8%）」を合わせた全体の51.2%が、肯定的な回答をしています。
一方で、「どちらかという暮らしにくい（14.1%）」と「暮らしにくい（6.2%）」を合わせた否定的な回答も20.3%存在しています。

	合計	暮らしやすい	どちらかという暮らしやすい	どちらともいえない	どちらかという暮らしにくい	暮らしにくい	不明・無回答
全体	1190	176	433	318	168	74	21
	100.0%	14.8%	36.4%	26.7%	14.1%	6.2%	1.8%

- 暮らしやすい
- どちらかという暮らしやすい
- どちらともいえない
- どちらかという暮らしにくい
- 暮らしにくい
- 不明・無回答



(N= 1,190)

問8.あなたは、これからも志摩市に住み続けたいと思いますか？（1つ選択）

1.今の場所に住み続けたい

2.市内の別の場所に転居したい

3.三重県内の市町に転出したい

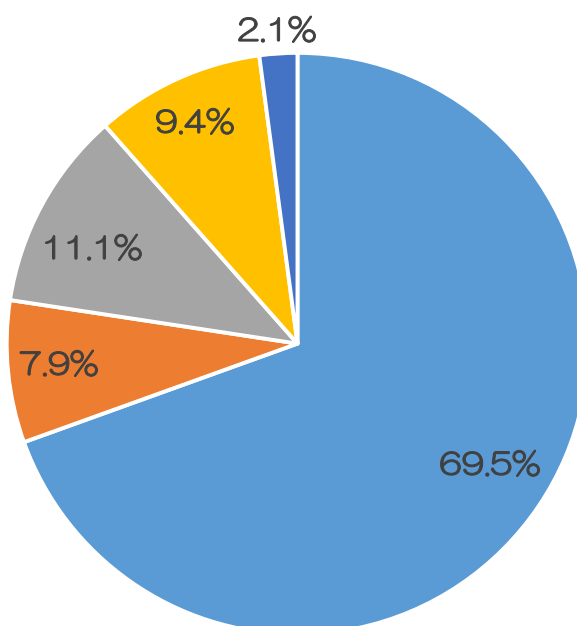
4.三重県外に転出したい

【結果】

割合を見ると、一番多かったのは「今の場所に住み続けたい（69.5%）」でした。全体の約7割を占めており、大半の人が現在の居住地での生活継続を望んでいることが分かります。一方で、「市内の別の場所に転居したい（7.9%）」、「三重県内の市町に転出したい（11.1%）」、「三重県外に転出したい（9.4%）」を合わせた28.4%の人は、現在の場所からの移動を考えている結果となっています。

	合計	今の場所に 住み続けたい	市内の別の 場所に 転居したい	三重県内の 市町に 転出したい	三重県外に 転出したい	不明・無 回答
全体	1,190	827	94	132	112	25
	100.0%	69.5%	7.9%	11.1%	9.4%	2.1%

- 今の場所に住み続けたい
- 市内の別の場所に転居したい
- 三重県内の市町に転出したい
- 三重県外に転出したい
- 不明・無回答



(N= 1,190)

3. 誰もがいきいきと暮らせるまちづくりについて

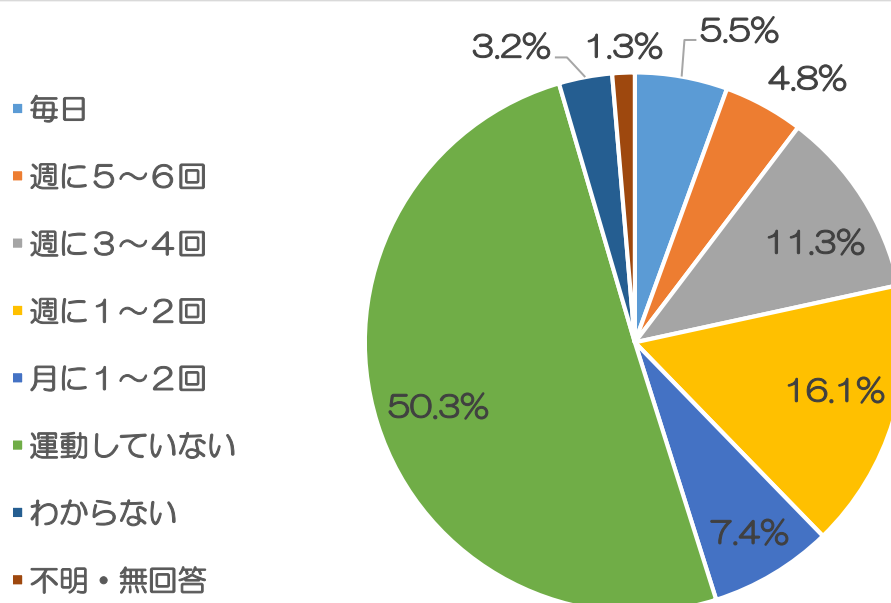
問9. あなたは、1週間にどれくらい運動やスポーツを実施していますか？（1つ選択）

- | | |
|----------|-----------|
| 1.毎日 | 2.週に5～6回 |
| 3.週に3～4回 | 4.週に1～2回 |
| 5.月に1～2回 | 6.運動していない |
| 7.わからない | |

【結果】

1週間に実施する運動やスポーツの頻度について割合を見ると、一番多かったのは「運動していない（50.3%）」であり、半数を占める一方で、定期的に体を動かす習慣がある層（「毎日（5.5%）」、「週5～6回（4.8%）」、「週3～4回（11.3%）」、「週1～2回（16.1%）」）を合わせると、全体の37.7%が週1回以上の運動を行っており、健康づくりへの関心は一定数維持されています。

	合計	毎日	週に5～6回	週に3～4回	週に1～2回	月に1～2回	運動していない	わからない	不明・無回答
全体	1190	66	57	134	192	88	599	38	16
	100.0%	5.5%	4.8%	11.3%	16.1%	7.4%	50.3%	3.2%	1.3%



(N= 1,190)

問10. あなたは、この1年間のうちに、自分の住む地域やその他の地域も含め、地域の活性化につながる取り組みや、地域をより良くする活動に参加しましたか？（1つ選択）

1.参加した

2.参加しなかった

3.取り組みや活動があることを知らなかった

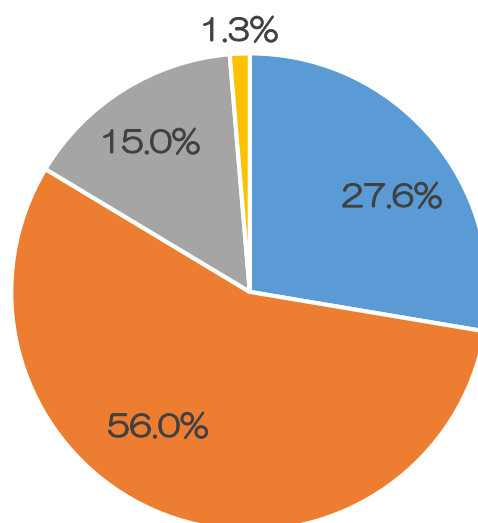
【結果】

地域の活性化や改善につながる活動について、過去1年間の参加状況を見ると、一番多かったのは「参加しなかった（56.0%）」でした。全体の半数以上を占めており、これに「参加した（27.6%）」、「取り組みや活動があることを知らなかった（15.0%）」が続いています。

活動に参加した人が約3割である一方で、参加しなかった人や活動自体を知らなかったと答えた層がそれぞれ一定の割合を占めていることが分かります。

	合計	参加した	参加しなかった	取り組みや活動があることを知らなかった	不明・無回答
全体	1,190	329	666	179	16
	100.0%	27.6%	56.0%	15.0%	1.3%

- 参加した
- 参加しなかった
- 取り組みや活動があることを知らなかった
- 不明・無回答



(N= 1,190)

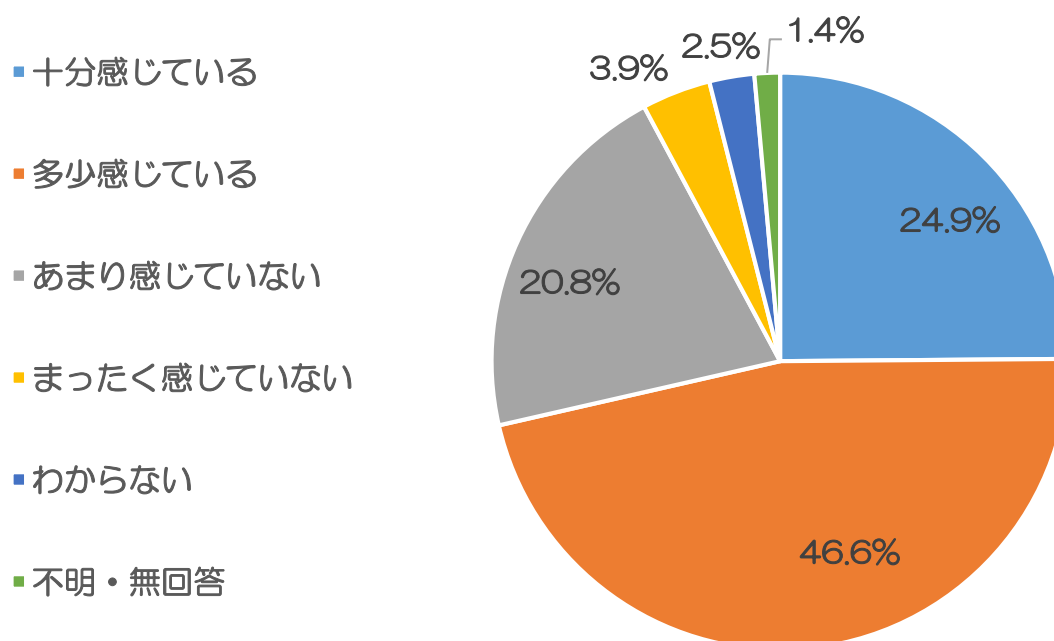
問11. あなたは、現在、どのくらい生きがい（喜びや楽しみ）を感じていますか？
（1つ選択）

- | | |
|-------------|--------------|
| 1.十分感じている | 2.多少感じている |
| 3.あまり感じていない | 4.まったく感じていない |
| 5.わからない | |

【結果】

割合を見ると、一番多かったのは「多少感じている（46.6%）」でした。これに「十分感じている（24.9%）」を合わせた全体の71.5%が、肯定的な回答をしています。一方で、「あまり感じていない（20.8%）」と「まったく感じていない（3.9%）」を合わせた24.7%の人は、生きがいを実感していないとなっています。約7割の人が何らかの生きがいを感じている一方で、感じていないと答えた層も一定の割合で存在していることが分かります。

	合計	十分感じている	多少感じている	あまり感じていない	まったく感じていない	わからない	不明・無回答
全体	1,190	296	554	247	46	30	17
	100.0%	24.9%	46.6%	20.8%	3.9%	2.5%	1.4%



(N= 1,190)

問12. あなたは、困ったときに身近に相談できる人や団体がありますか？
(1つ選択)

1.ある

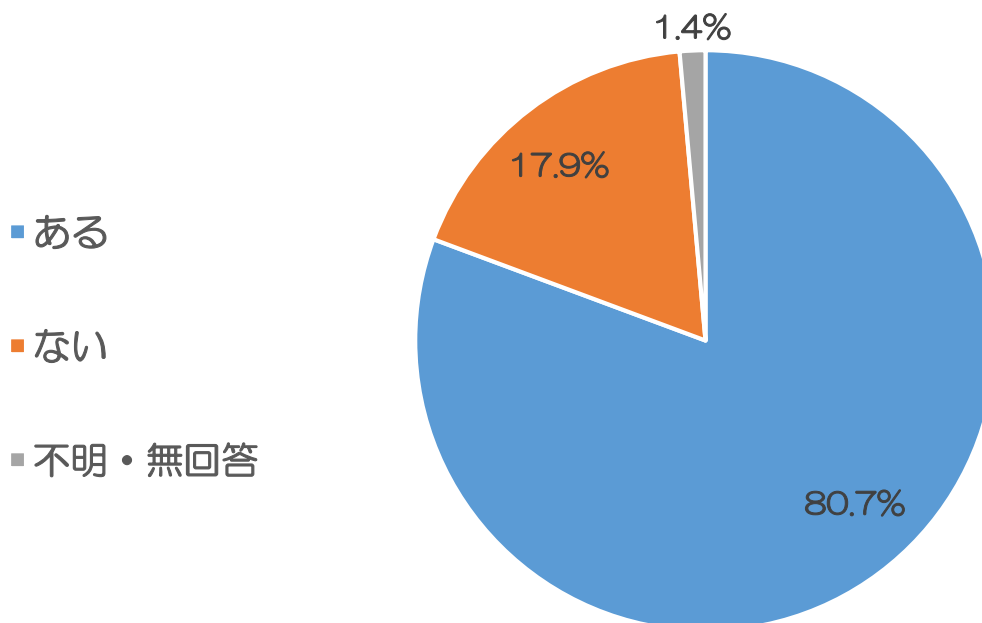
2.ない

【結果】

割合を見ると、一番多かったのは「ある（80.7%）」でした。全体の約8割を占めており、大半の人に何らかの相談相手がいることが分かります。

一方で、「ない（17.9%）」という回答も約2割近く存在していることから、孤立防止に向けた相談しやすい環境づくりが重要です。

	合計	ある	ない	不明・無回答
全体	1,190	960	213	17
	100.0%	80.7%	17.9%	1.4%



(N= 1,190)

問13. あなたは、「男は仕事、女は家庭」のように、性別によって役割を固定する考え方について、どう思いますか？（1つ選択）

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1.そう思う（同感する） | 2.どちらかといえばそう思う |
| 3.どちらかといえばそう思わない | 4.そう思わない（同感しない） |
| 5.わからない | |

【結果】

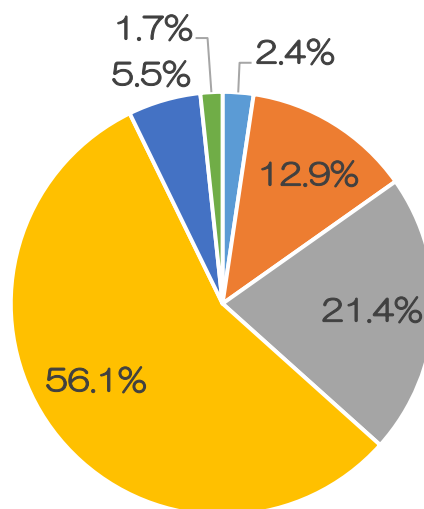
割合を見ると、一番多かったのは「そう思わない（同感しない）（56.1%）」でした。これに「どちらかといえばそう思わない（21.4%）」を合わせた全体の77.5%が、否定的な回答をしています。

一方で、「どちらかといえばそう思う（12.9%）」と「そう思う（同感する）（2.4%）」を合わせた肯定的な回答は15.3%となっています。

全体の約8割近くが否定的な回答をしている一方で、肯定的な意見を持つ層も少数ながら存在していることが分かります。

	合計	（同感する） そう思う	どちらか そう 思う ええ	どちら そう 思わ ない ええ	（同感しない） そう 思わ ない	わからない	不明・無回答
全体	1,190	28	153	255	668	66	20
	100.0%	2.4%	12.9%	21.4%	56.1%	5.5%	1.7%

- そう思う（同感する）
- どちらかといえばそう思う
- どちらかといえばそう思わない
- そう思わない（同感しない）
- わからない
- 不明・無回答



(N= 1,190)

問14. あなたは、SDGs※について、どのくらいご存じですか？（1つ選択）

※「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称

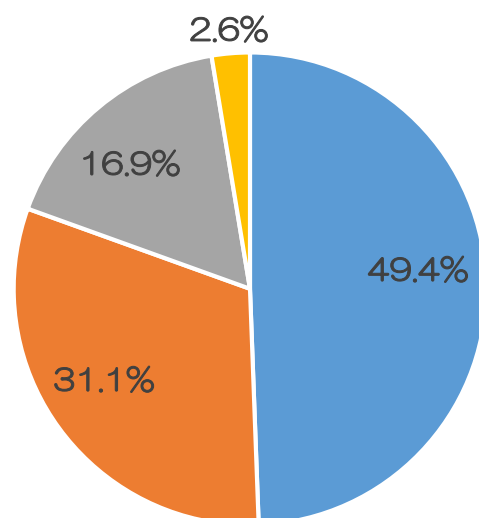
- 1.SDGsという言葉も内容も大体知っている
- 2.SDGsという言葉聞いたことはあるが、内容はわからない
- 3.SDGsという言葉も内容もわからない

【結果】

割合を見ると、一番多かったのは「言葉も内容も大体知っている（49.4%）」でした。市民の約半数が内容まで認知していることが分かります。
一方で、「言葉は聞いたことはあるが、内容はわからない（31.1%）」と「言葉も内容もわからない（16.9%）」を合わせた48.0%の人は、内容までは把握していないとなっています。
内容まで知っている層と、内容までは知らない層の割合が、それぞれ約半数ずつ存在していることが見て取れます。

	合計	内S 容D もG s大 体と 知い つう て言 い葉 も	聞S 内い 容た はこ とわ かほ うあ る言 葉を	S 内D 容G もs わこ うら ない 言 葉も	不明・無回答
全体	1,190	588	370	201	31
	100.0%	49.4%	31.1%	16.9%	2.6%

- SDGsという言葉も内容も大体知っている
- SDGsという言葉聞いたことはあるが、内容はわからない
- SDGsという言葉も内容もわからない
- 不明・無回答



(N= 1,190)

4. 人口減少・少子高齢化に対応したまちづくりについて

問15. 若者が住んで、子どもを産み育てられるまちをつくるために、市が優先して取り組む対策は、何だと思いますか？
重要だと思う順番に、2つ選んでください（2つ選択）

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1.子育て支援の充実 | 2.教育・学習環境の整備 |
| 3.若者の働く場・雇用の創出 | 4.結婚・出会いへの支援 |
| 5.住まい・定住への支援 | 6.ワークライフバランスの推進 |
| 7.その他 | |

【結果】

割合を見ると、1番目に優先すべきこととして一番多かったのは「若者の働く場・雇用の創出（49.9%）」でした。全体の約半数を占めており、これに「子育て支援の充実（32.4%）」が続いています。

また、2番目に優先すべきことを見ると、「若者の働く場・雇用の創出（25.8%）」が一番多く、次いで「住まい・定住への支援（23.1%）」が高くなっています。
1番目と2番目を合わせると、「雇用の創出」と「子育て支援」の2つが特に高い割合を占めており、市民の間で優先度の高い施策として認識されていることが分かります。

<その他（自由記述）の主な内容>

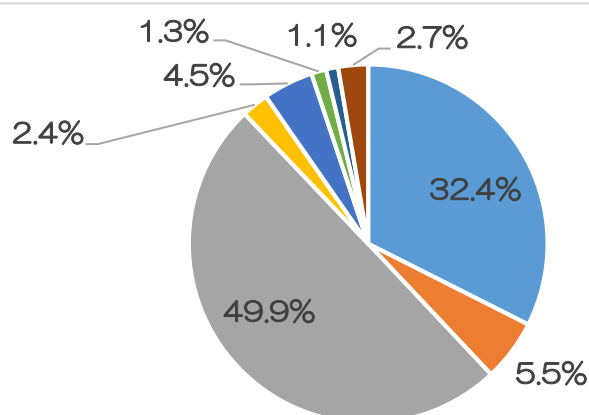
- ・医療体制の充実と産婦人科の誘致
- ・高齢者福祉と介護環境の整備
- ・子育て・出産への直接的な支援
- ・若者の定住と暮らしやすさの向上
- ・公共交通機関とインフラの整備
- ・商業施設の充実
- ・自然環境の復元
- ・教育方針への意見
- ・結婚支援のあり方
- ・自己肯定感と意識改革
- ・震災への不安対策
- ・労働環境の改善

問15. 若者が住んで、子どもを産み育てられるまちをつくるために、市が優先して取り組む対策は、何だと思いますか？
重要だと思う順番に、2つ選んでください（2つ選択）

1番目	合計	子育て支援の充実	教育・学習環境の整備	若者の働く場・雇用の創出	結婚・出会いへの支援	住まい・定住への支援	ワークライフバランスの推進	その他	不明・無回答
全体	1,190	386	66	594	29	54	16	13	32
	100.0%	32.4%	5.5%	49.9%	2.4%	4.5%	1.3%	1.1%	2.7%

1番目

- 子育て支援の充実
- 教育・学習環境の整備
- 若者の働く場・雇用の創出
- 結婚・出会いへの支援
- 住まい・定住への支援
- ワークライフバランスの推進
- その他
- 不明・無回答

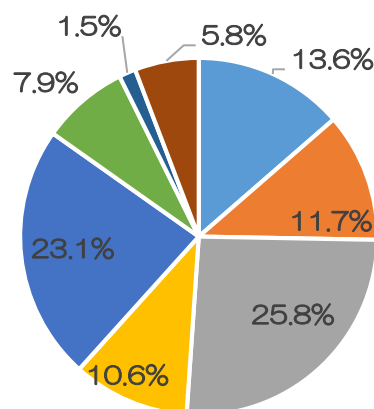


(N= 1,190)

2番目	合計	子育て支援の充実	教育・学習環境の整備	若者の働く場・雇用の創出	結婚・出会いへの支援	住まい・定住への支援	ワークライフバランスの推進	その他	不明・無回答
全体	1,190	162	139	307	126	275	94	18	69
	100.0%	13.6%	11.7%	25.8%	10.6%	23.1%	7.9%	1.5%	5.8%

2番目

- 子育て支援の充実
- 教育・学習環境の整備
- 若者の働く場・雇用の創出
- 結婚・出会いへの支援
- 住まい・定住への支援
- ワークライフバランスの推進
- その他
- 不明・無回答



(N= 1,190)

副問. 問15で選んだ対策について、「こうなれば良い」という期待や、具体的なアイデアがあれば教えてください。(自由記述)

＜その他（自由記述）の主な内容＞

1. 医療・福祉・子育て支援

- ・医療体制（特に専門医不足、夜間・休日診療の不安、総合病院の誘致）
- ・子育て世帯への経済的・精神的支援
- ・全天候型・屋内遊び場・子どものための施設の充実
- ・柔軟な保育・一時預かり・土日祝日の託児体制
- ・不妊治療への手厚い補助・適応緩和
- ・病児保育・シッター制度の拡充
- ・「1人目」への手厚い支援の必要性
- ・男性の育児参加・育休取得の当たり前化
- ・日常の家事負担の軽減対策

2. インフラ整備（道路・交通・生活基盤）

- ・公共交通機関の脆弱性の改善（バス・電車の本数、利便性向上）
- ・道路・都市インフラの整備・維持管理（舗装補修、白線引き直し、街灯増設、草木伐採）
- ・近隣都市への通勤・通学アクセスの改善

3. 雇用創出・産業振興

- ・企業誘致と雇用の創出（大手企業・工場の誘致、安定した正規雇用の確保）
- ・地場産業（漁業・農業等の一次産業）の活性化・支援
- ・一次産業のイメージ向上と若者の就業意欲の創出

4. 行政サービス・運営・財政

- ・全世代への公平な税金の還元と支援（支援の偏りに対する意見）
- ・行政への手厳しさと本気の取り組みへの期待
- ・若者の意見を取り入れる体制・構造の改革

5. 環境・景観保全

- ・志摩市の景観・豊かな自然環境の維持（草木の適切な手入れ、美化）

6. 防災・安全対策

- ・防災と住まいの安全確保（津波・揺れへの不安を解消する建物・対策）

7. 観光振興

- ・娯楽・文化施設の充実や魅力的な観光産業の創出

8. 空き家・空き地対策

- ・空き家・遊休地・廃校の再利用とリフォーム補助
- ・住宅支援の多様化（若者向け・単身者向けの安価な住まいの確保）

9. 地域コミュニティ・自治会

- ・多世代交流による地域での見守り・子どもと高齢者の融合
- ・移住者が馴染みやすい開かれた自治の在り方への転換

10. その他

- ・愛着形成とシビックプライドの定着（子どもの頃からの地域との心のつながり）
- ・教育環境の魅力向上と選択肢の拡充（高校閉校に伴う通学環境の整備や学習・専門分野の強化）
- ・教育・学習環境の格差是正への支援
- ・若者同士の自然な出会い・マッチング機会の創出
- ・特定地区への重点的な活性化施策への期待

5. 防災・減災について

問16. あなた自身で防災・減災対策に取り組んでいることはありますか？
次の具体的な対策のうち、あてはまるものをすべて選んで☑（し点）をつけてください。（いくつでも可）

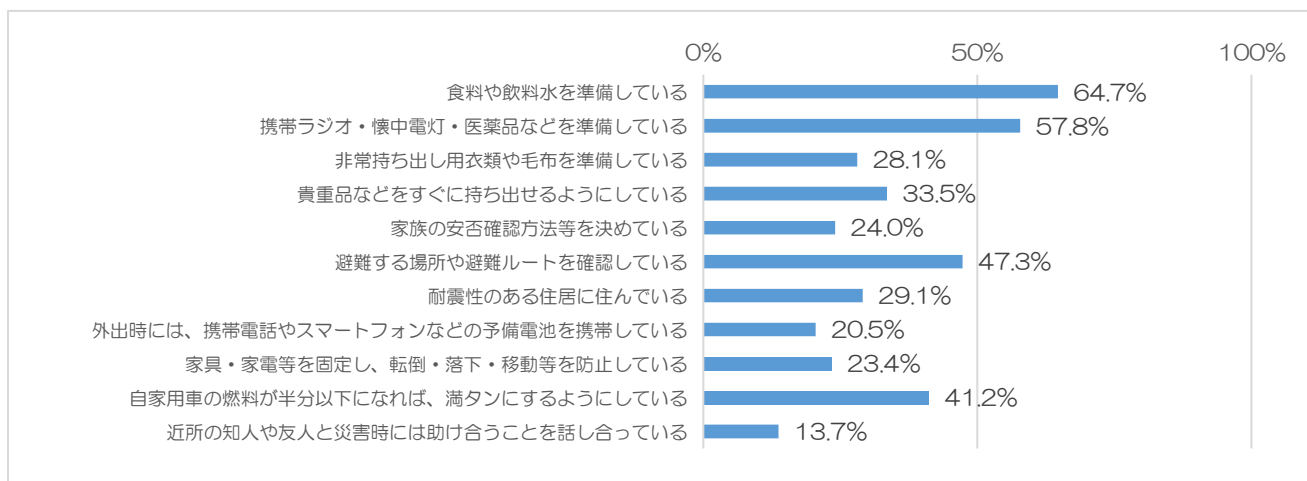
1.食料や飲料水を準備している	2.携帯ラジオ・懐中電灯・医薬品などを準備している
3.非常持ち出し用衣類や毛布を準備している	4.貴重品などをすぐに持ち出せるようにしている
5.家族の安否確認方法等を決めている	6.避難する場所や避難ルートを確認している
7.耐震性のある住居に住んでいる	8.外出時には、携帯電話やスマートフォンなどの予備電池を携帯している
9.家具・家電等を固定し、転倒・落下・移動等を防止している	10.自家用車の燃料が半分以下になれば、満タンにするようにしている
11.近所の知人や友人と災害時には助け合うことを話し合っている	

【結果】

割合を見ると、一番多かったのは「食料や飲料水を準備している（64.7%）」でした。これに「携帯ラジオ・懐中電灯・医薬品などを準備している（57.8%）」が続いており、物資の備蓄に関する項目がそれぞれ半数を超えています。

一方で、「家具・家電等を固定し、転倒・落下・移動等を防止している（23.4%）」や「近所の知人や友人と災害時には助け合うことを話し合っている（13.7%）」といった項目はそれぞれ1～2割の割合となっています。

	合計	食料や飲料水を準備している	携帯ラジオ・懐中電灯・医薬品などを準備している	非常持ち出し用衣類や毛布を準備している	貴重品などをすぐに持ち出せるようにしている	家族の安否確認方法等を決めている	避難する場所や避難ルートを確認している	耐震性のある住居に住んでいる	外出時には、携帯電話やスマートフォンなどの予備電池を携帯している	家具・家電等を固定し、転倒・落下・移動等を防止している	自家用車の燃料が半分以下になれば、満タンにするようにしている	近所の知人や友人と災害時には助け合うことを話し合っている
全体	1,190	770	688	334	399	286	563	346	244	279	490	163
	100.0%	64.7%	57.8%	28.1%	33.5%	24.0%	47.3%	29.1%	20.5%	23.4%	41.2%	13.7%



(N= 1,190)

問17. 過去1年間に、お住まいの地域の防災訓練に参加したことがありますか？
(1つ選択)

1.参加した

2.参加しなかった

3.防災訓練がなかった

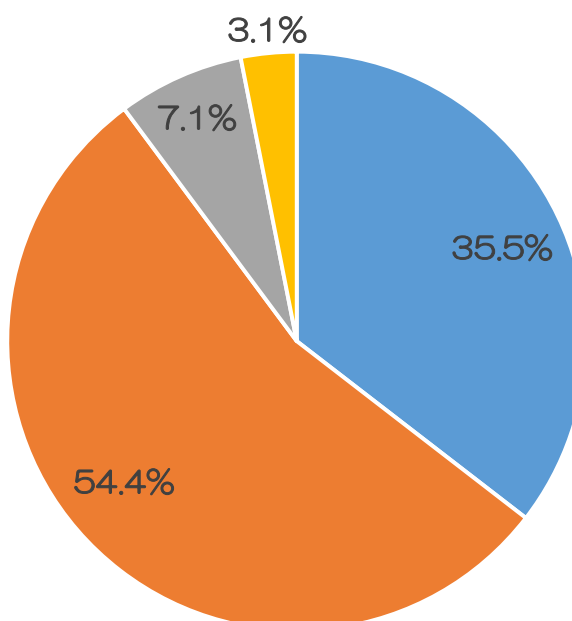
【結果】

割合を見ると、一番多かったのは「参加していない（54.4%）」でした。全体の半数を超えており、これに「参加した（35.5%）」、「防災訓練がなかった（7.1%）」が続いています。

訓練に参加した人が約3割強である一方で、参加していない人や訓練自体がなかったと答えた層がそれぞれ一定の割合を占めていることが分かります。

	合計	参加した	参加しなかった	防災訓練がなかった	不明・無回答
全体	1,190	422	647	84	37
	100.0%	35.5%	54.4%	7.1%	3.1%

- 参加した
- 参加していない
- 防災訓練がなかった
- 不明・無回答



(N= 1,190)

6. 行政デジタル化について

問18. 市役所で行う手続き等で、現在、書類提出など対面でやりとりを行っているものの中で、今後、窓口に行かなくても自分の都合のいい時間に、スマートフォンやパソコンなどを使って済ませたいと思う手続き等がありますか？

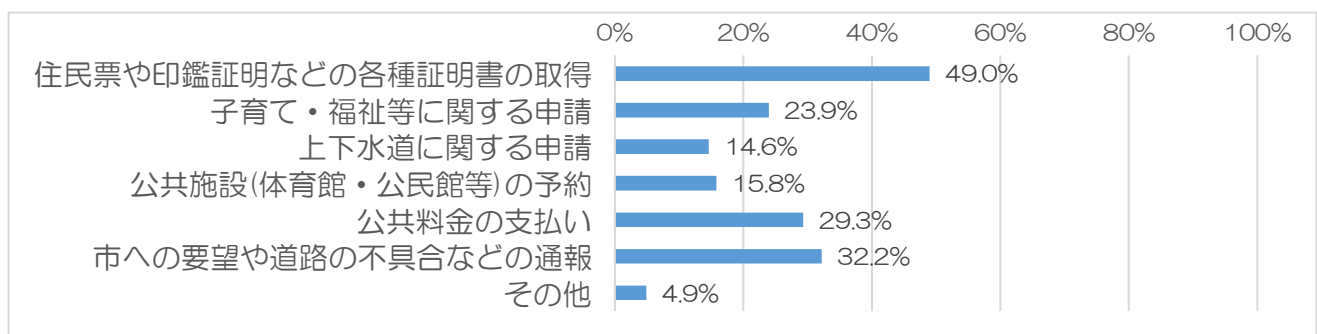
次の具体的な手続きのうち、あてはまるものをすべて選んで☑（レ点）をつけてください。（いくつでも可）

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1.住民票や印鑑証明などの各種証明書の取得 | 2.子育て・福祉等に関する申請 |
| 3.上下水道に関する申請 | 4.公共施設(体育館・公民館等)の予約 |
| 5.公共料金の支払い | 6.市への要望や道路の不具合などの通報 |
| 7.その他 | |

【結果】

割合を見ると、一番多かったのは「住民票や印鑑証明などの各種証明書の取得（49.0%）」でした。市民の約半数が窓口以外での対応を求めていることが分かります。これに「市への要望や道路の不具合などの通報（32.2%）」、「公共料金の支払い（29.3%）」が続いており、日常生活に密接した項目へのニーズが高くなっています。

	合計	住民票や印鑑証明などの各種証明書の取得	子育て・福祉等に関する申請	上下水道に関する申請	公共施設（体育館・公民館等）の予約	公共料金の支払い	市への要望や道路の不具合などの通報	その他
全体	1,190	583	285	174	188	349	383	58
	100.0%	49.0%	23.9%	14.6%	15.8%	29.3%	32.2%	4.9%



(N= 1,190)

＜その他（自由記述）の主な内容＞

- ・デジタル機器未保有・未利用への配慮
- ・操作方法への不安と教育の必要性
- ・対面窓口・紙媒体の継続希望
- ・オンライン完結への強い期待
- ・特定の行政情報のデジタル化
- ・マイナンバー関連・補助金の手続き
- ・デジタル化による孤立化への懸念
- ・行政との双方向コミュニケーション
- ・訪問サポートの要望
- ・利便性とコストの再考

7. 市からの広報手段について

問19. あなたは普段、市が行っている事業や提供しているサービス等に関する情報を、どんな手段によって知ることが多いですか？
情報を多く得ていると感じる順番に、最大3つまで選んでください。

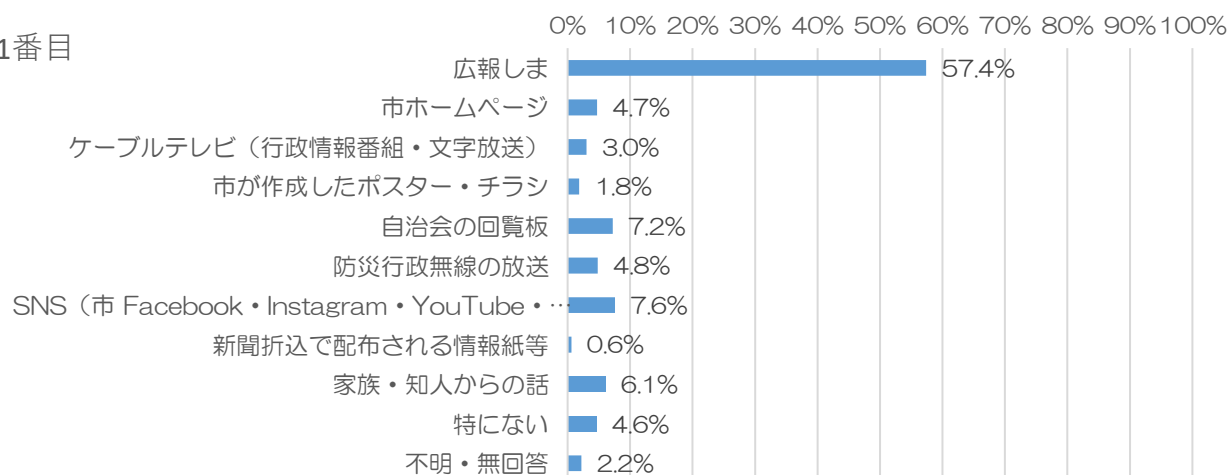
- | | |
|---|------------------|
| 1.広報しま | 2.市ホームページ |
| 3.ケーブルテレビ（行政情報番組・文字放送） | 4.市が作成したポスター・チラシ |
| 5.自治会の回覧板 | 6.防災行政無線の放送 |
| 7.SNS（市 Facebook・Instagram・YouTube・LINE等） | 8.新聞折込で配布される情報紙等 |
| 9.家族・知人からの話 | 10.特になし |

【結果】

割合を見ると、1番目に挙げた人が一番多かったのは「広報しま（57.4%）」でした。これに続く情報源としては、2番目に挙げた人が多い「自治会の回覧板（26.2%）」や、3番目に挙げた人が多い「防災行政無線の放送（16.6%）」、「家族・知人からの話（15.9%）」が高くなっています。一方で、SNS（市Facebook・Instagram・YouTube・LINE等）を1番目に挙げた人は7.6%となっています。これらから、市民の情報入手手段にはそれぞれいくつかの特徴的な傾向があることが見て取れます。

1番目	合計	広報しま	市ホームページ	（行政情報番組・文字放送） ケーブルテレビ	市が作成した ポスター・チラシ	自治会の回覧板	防災行政無線の放送	SNS（市 Facebook・Instagram・YouTube・LINE等）	新聞折込で配布される情報紙等	家族・知人からの話	特になし	不明・無回答
全体	1,190	683	56	36	22	86	57	90	7	72	55	26
	100.0%	57.4%	4.7%	3.0%	1.8%	7.2%	4.8%	7.6%	0.6%	6.1%	4.6%	2.2%

1番目



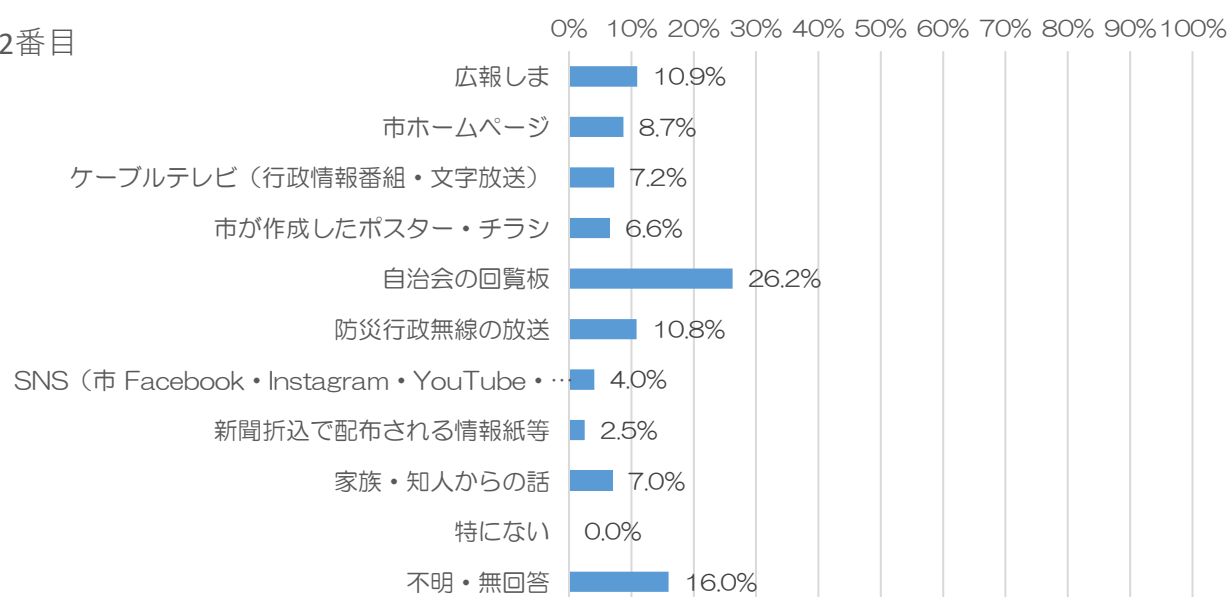
(N= 1,190)

問19. あなたは普段、市が行っている事業や提供しているサービス等に関する情報を、どんな手段によって知ることが多いですか？
情報を多く得ていると感じる順番に、最大3つまで選んでください。

- | | |
|---|------------------|
| 1.広報しま | 2.市ホームページ |
| 3.ケーブルテレビ（行政情報番組・文字放送） | 4.市が作成したポスター・チラシ |
| 5.自治会の回覧板 | 6.防災行政無線の放送 |
| 7.SNS（市 Facebook・Instagram・YouTube・LINE等） | 8.新聞折込で配布される情報紙等 |
| 9.家族・知人からの話 | 10.特になし |

2番目	合計	広報しま	市ホームページ	ケーブルテレビ （行政情報番組・文字放送）	市が作成した ポスター・チラシ	自治会の回覧板	防災行政無線の放送	SNS（市 Facebook・ Instagram・YouTube・ LINE等）	新聞折込で配布される情報紙等	家族・知人からの話	特になし	不明・無回答
全体	1,190	130	104	86	78	312	129	48	30	83	0	190
	100.0%	10.9%	8.7%	7.2%	6.6%	26.2%	10.8%	4.0%	2.5%	7.0%	0.0%	16.0%

2番目



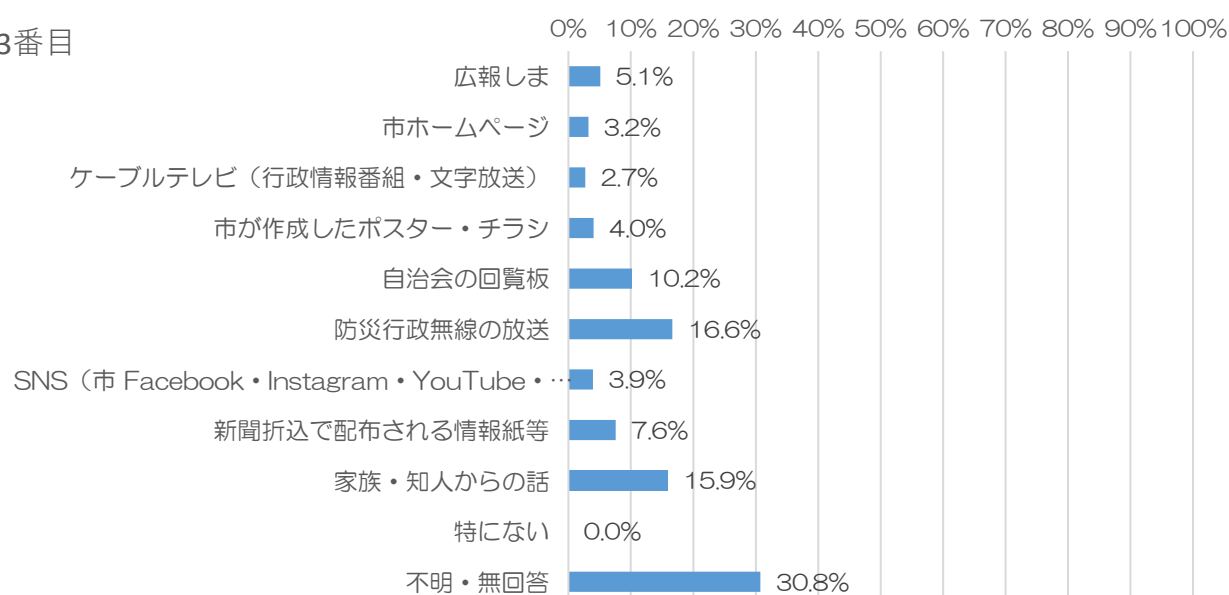
(N= 1,190)

問19. あなたは普段、市が行っている事業や提供しているサービス等に関する情報を、どんな手段によって知ることが多いですか？
情報を多く得ていると感じる順番に、最大3つまで選んでください。

- | | |
|---|------------------|
| 1.広報しま | 2.市ホームページ |
| 3.ケーブルテレビ（行政情報番組・文字放送） | 4.市が作成したポスター・チラシ |
| 5.自治会の回覧板 | 6.防災行政無線の放送 |
| 7.SNS（市 Facebook・Instagram・YouTube・LINE等） | 8.新聞折込で配布される情報紙等 |
| 9.家族・知人からの話 | 10.特になし |

3番目	合計	広報しま	市ホームページ	ケーブルテレビ （行政情報番組・文字放送）	市が作成した ポスター・チラシ	自治会の回覧板	防災行政無線の放送	SNS（市 Facebook・Instagram・YouTube・LINE等）	新聞折込で配布される情報紙等	家族・知人からの話	特になし	不明・無回答
全体	1,190	61	38	32	48	121	198	47	90	189	0	366
	100.0%	5.1%	3.2%	2.7%	4.0%	10.2%	16.6%	3.9%	7.6%	15.9%	0.0%	30.8%

3番目



(N= 1,190)

問20. あなたは、市の広報活動により、市からのお知らせなどの情報が伝わっていると
感じますか？（1つ選択）

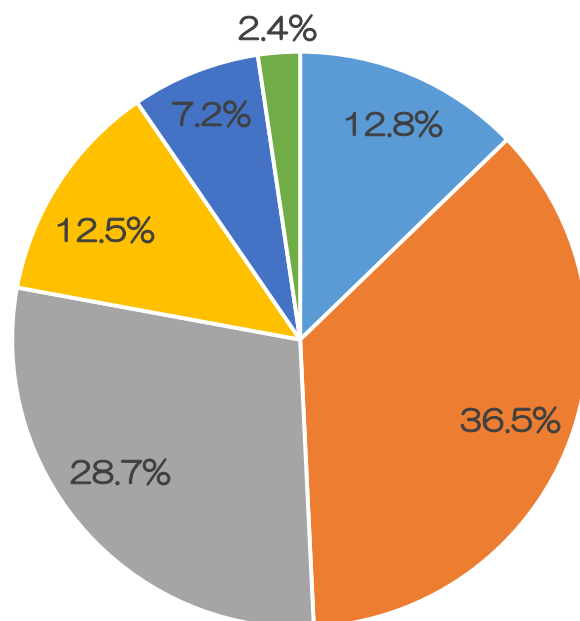
- | | |
|-------------|----------------|
| 1.感じる | 2.どちらかといえば感じる |
| 3.どちらともいえない | 4.どちらかといえば感じない |
| 5.感じない | |

【結果】

割合を見ると、一番多かったのは「どちらかといえば感じる（36.5%）」でした。これに「感じる（12.8%）」を合わせた全体の49.3%が、肯定的な回答をしています。一方で、「どちらともいえない（28.7%）」という回答が約3割近くあるほか、「どちらかといえば感じない（12.5%）」と「感じない（7.2%）」を合わせた否定的な回答は19.7%となっています。

	合計	感じる	どちらか といえば 感じる	どちらとも いえない	どちらか といえば 感じない	感じない	不明・無 回答
全体	1,190	152	434	341	149	86	28
	100.0%	12.8%	36.5%	28.7%	12.5%	7.2%	2.4%

- 感じる
- どちらかといえば感じる
- どちらともいえない
- どちらかといえば感じない
- 感じない
- 不明・無回答



(N= 1,190)

問21. あなたのご家庭では、ケーブルテレビに加入していますか。
(1つ選択)

1.加入している

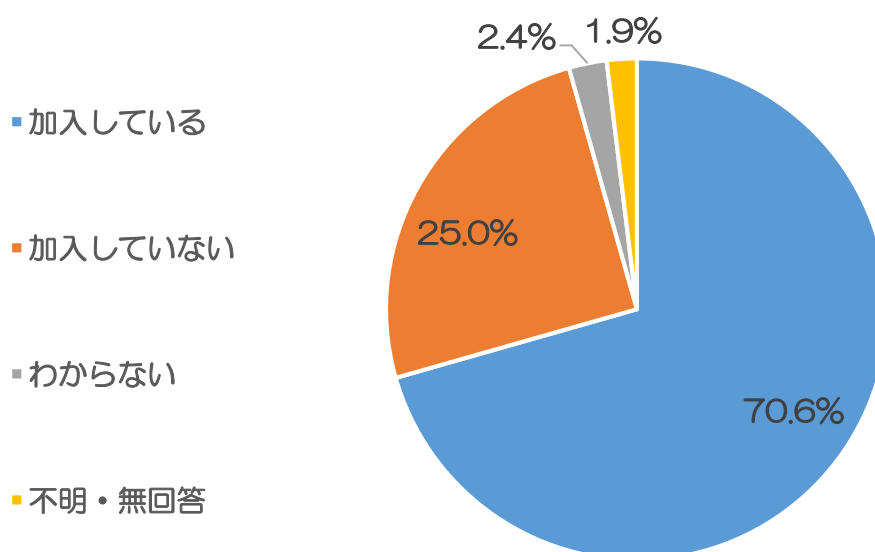
2.加入していない

3.わからない

【結果】

割合を見ると、一番多かったのは「加入している（70.6%）」でした。全体の7割を超えており、大半の世帯が加入していることが分かります。
一方で、「加入していない（25.0%）」という回答も4分の1にあたる2割強存在しており、世帯によって加入状況にそれぞれ違いがあることが見て取れます。

	合計	加入している	加入していない	わからない	不明・無回答
全体	1,190	840	298	29	23
	100.0%	70.6%	25.0%	2.4%	1.9%



(N= 1,190)

副問。（問21「1. 加入している」を選んだ方にお聞きします。）
ケーブルテレビで放送している、市の行政情報や市内のできごと、
市議会一般質問の内容などをお伝えする「志摩の国チャンネル」を
見ていますか。（1つ選択）

1.よく見ている

2.ときどき見ている

3.ほとんど見ない

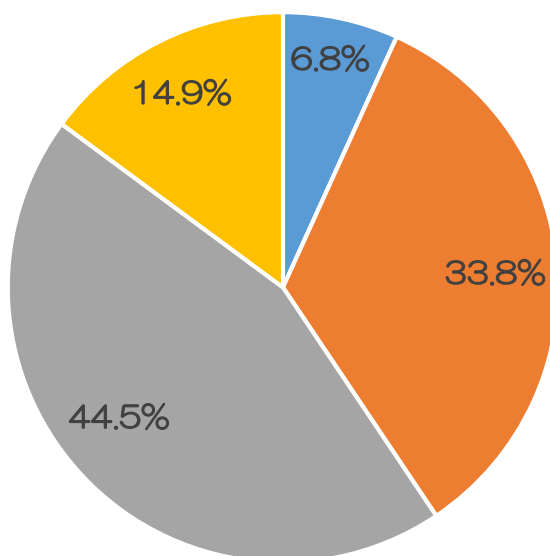
4.見たことはない

【結果】

割合を見ると、一番多かったのは「ほとんど見ない（44.5%）」でした。これに「見たことはない（14.9%）」を合わせた59.4%の人が、あまり視聴していないとなっています。
一方で、「ときどき見ている（33.8%）」と「よく見ている（6.8%）」を合わせた視聴している人の割合は40.6%となっています。

	合計	よく見ている	ときどき見ている	ほとんど見ない	見たことはない
全体	840	57	284	374	125
	100.0%	6.8%	33.8%	44.5%	14.9%

- よく見ている
- ときどき見ている
- ほとんど見ない
- 見たことはない



(N= 1,190)

問22. あなたは、スマートフォンを使用していますか？（1つ選択）

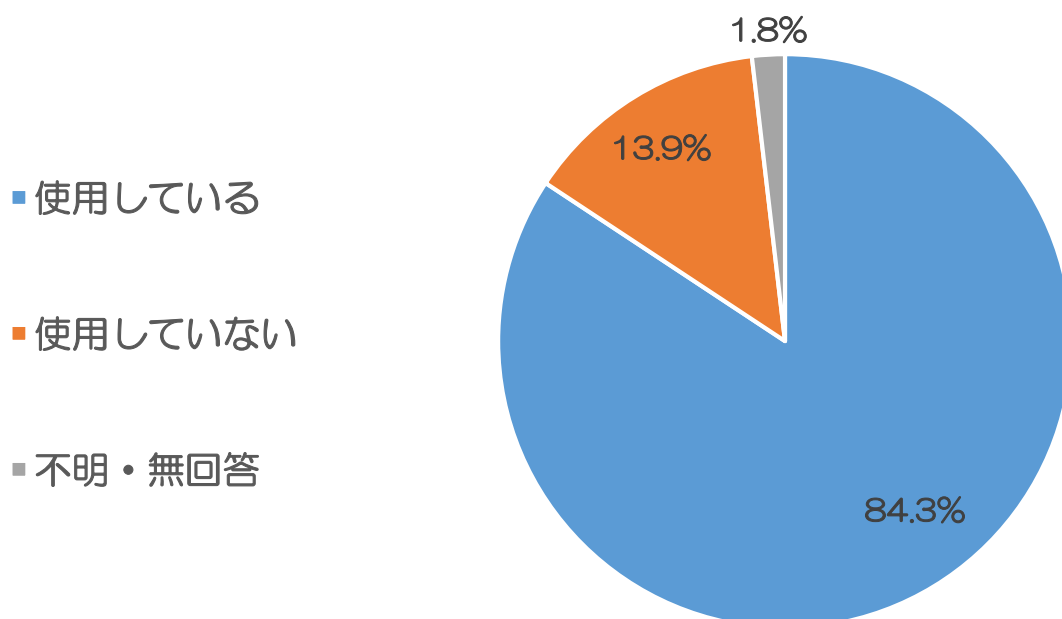
1.使用している

2.使用していない

【結果】

割合を見ると、一番多かったのは「使用している（84.3%）」でした。全体の8割を超えており、大多数を占めていることが分かります。
一方で、「使用していない（13.9%）」という回答も1割強存在しています。

	合計	使用している	使用していない	不明・無回答
全体	1,190	1,003	165	22
	100.0%	84.3%	13.9%	1.8%



(N= 1,190)

問23. あなたは、次のSNSを日ごろ使用していますか？（それぞれ1つ選択）

- | | | |
|----------------|---------|--------|
| ①【X（旧Twitter）】 | ⇒ 1. はい | 2. いいえ |
| ②【Instagram】 | ⇒ 1. はい | 2. いいえ |
| ③【Facebook】 | ⇒ 1. はい | 2. いいえ |
| ④【YouTube】 | ⇒ 1. はい | 2. いいえ |
| ⑤【LINE】 | ⇒ 1. はい | 2. いいえ |

【結果】

日常的に利用しているSNSについて各項目の割合を見ると、一番多かったのは「LINE（74.0%）」でした。これに「YouTube（58.5%）」が続いており、この2つのSNSの利用率がそれぞれ半数を超えています。

次いで「Instagram（32.0%）」、「X（旧Twitter）（16.4%）」、「Facebook（12.7%）」の順に高くなっています。

	X（旧Twitter）				Instagram			
	合計	はい	いいえ	不明・無回答	合計	はい	いいえ	不明・無回答
全体	1,190	195	972	23	1,190	381	786	23
	100.0%	16.4%	81.7%	1.9%	100.0%	32.0%	66.1%	1.9%

	Facebook				Youtube			
	合計	はい	いいえ	不明・無回答	合計	はい	いいえ	不明・無回答
全体	1,190	151	1,016	23	1,190	696	471	23
	100.0%	12.7%	85.4%	1.9%	100.0%	58.5%	39.6%	1.9%

	LINE			
	合計	はい	いいえ	不明・無回答
全体	1,190	881	286	23
	100.0%	74.0%	24.0%	1.9%

問23. あなたは、次のSNSを日ごろ使用していますか？（それぞれ1つ選択）

①【X（旧Twitter）】

⇒ 1. はい

2. いいえ

②【Instagram】

⇒ 1. はい

2. いいえ

③【Facebook】

⇒ 1. はい

2. いいえ

④【YouTube】

⇒ 1. はい

2. いいえ

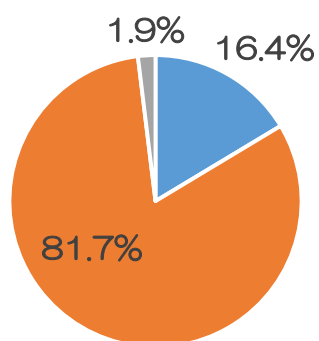
⑤【LINE】

⇒ 1. はい

2. いいえ

X（旧Twitter）

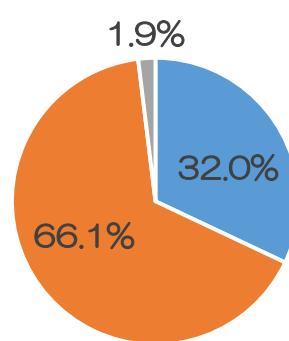
- はい
- いいえ
- 不明・無回答



(N = 1,190)

Instagram

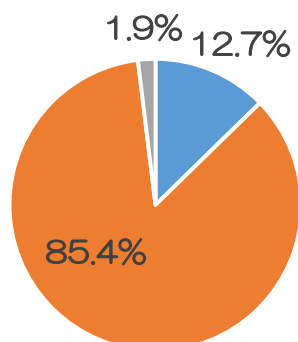
- はい
- いいえ
- 不明・無回答



(N = 1,190)

Facebook

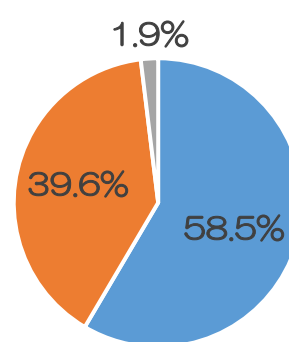
- はい
- いいえ
- 不明・無回答



(N = 1,190)

YouTube

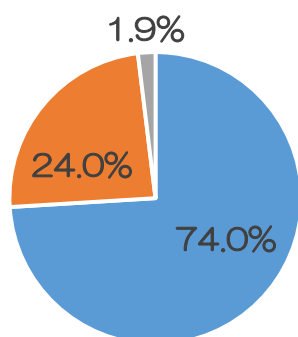
- はい
- いいえ
- 不明・無回答



(N = 1,190)

LINE

- はい
- いいえ
- 不明・無回答



(N = 1,190)

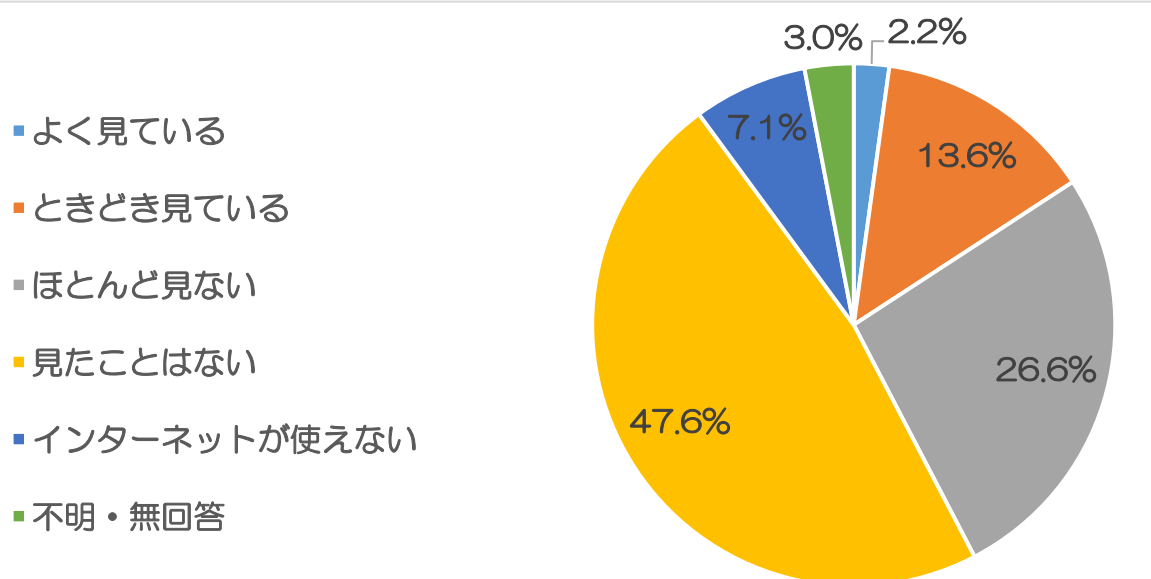
問24. あなたは、志摩市の行政情報や市内のできごとなどを動画で見ることができる「志摩市YouTubeチャンネル」を見ていますか？（1つ選択）

- | | |
|----------------|------------|
| 1.よく見ている | 2.ときどき見ている |
| 3.ほとんど見ない | 4.見たことはない |
| 5.インターネットが使えない | |

【結果】

割合を見ると、一番多かったのは「見たことはない（47.6%）」でした。これに「ほとんど見ない（26.6%）」を合わせた74.2%の人がいる一方で、「ときどき見ている（13.6%）」と「よく見ている（2.2%）」を合わせた視聴している人の割合は15.8%となっており、行政情報や市内のできごとへの関心は一定数維持されています。また、「インターネットが使えない」と答えた人も7.1%存在しています。

	合計	よく見ている	ときどき見ている	ほとんど見ない	見たことはない	インターネットが 使えない	不明・無回答
全体	1,190	26	162	316	566	84	36
	100.0%	2.2%	13.6%	26.6%	47.6%	7.1%	3.0%



(N= 1,190)

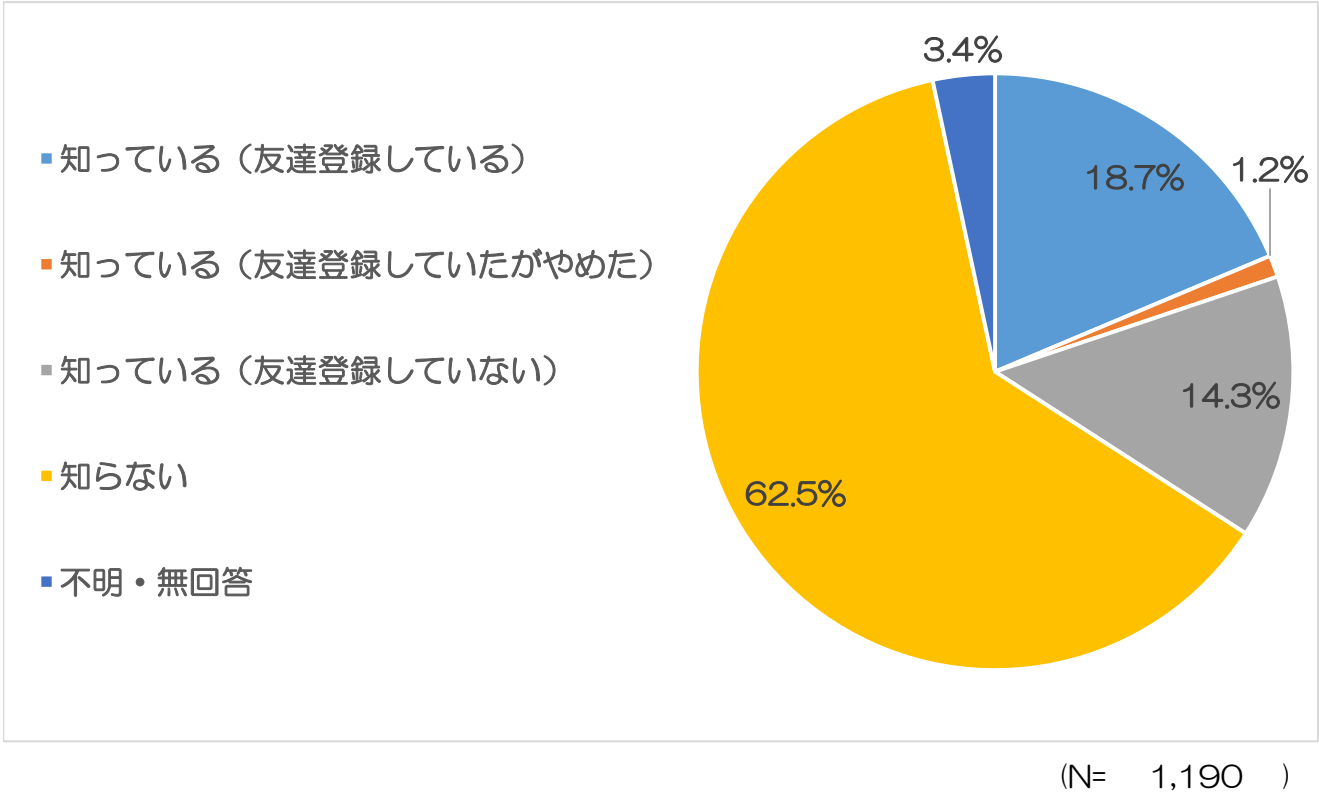
問25. あなたは、希望する情報等を登録いただくことで、自分に合った情報を
受け取ることができる「志摩市LINE公式アカウント」を知っていますか？
(1つ選択)

- 1.知っている（友達登録している）
- 2.知っている（友達登録していたがやめた）
- 3.知っている（友達登録していない）
- 4.知らない

【結果】

割合を見ると、一番多かったのは「知らない（62.5%）」でした。全体の6割を超えています。
一方で、「知っている（友達登録している）（18.7%）」と「知っている（登録していない等）（15.5%）」を合わせた、認知している人の割合は34.2%となっています。

	合計	（友知 達っ てい る） 登録 して る	い（友知 たが達っ や登て め録い た）る	（友知 達っ てい ない） 登録 して る	知らない	不明・無回答
全体	1,190	222	14	170	744	40
	100.0%	18.7%	1.2%	14.3%	62.5%	3.4%



8. 志摩市のまちづくり全般へのご意見についておたずねします

問26. 今後、志摩市に特に力を入れてほしい取組や、本アンケート調査に対するご感想、ご意見などございましたら、ご自由にお書きください。（自由記載）

【結果】

最も意見が集中したのは「医療・福祉・子育て支援」(23.0%)で、産婦人科・小児科等の専門医不足や休日・夜間診療への不安、高齢者の移動手段確保や見守り、屋内遊び場の設置や高校の維持を含む子育て支援の充実を求める声が強いことがうかがえます。次いで「インフラ整備(道路・交通・生活基盤)」(21.9%)が多く、道路の白線引き直しや街灯増設、樹木伐採等の維持管理、公共交通の利便性向上(バスの減便対策、デマンド交通の改善)、水道料金の負担軽減への要望が目立ちます。さらに「雇用創出・産業振興」(15.5%)も重要なテーマであり、企業誘致や若者の働く場の創出、賃金水準への不満、漁業・農業など一次産業の衰退(稚貝放流や磯焼け対策等)への懸念が示されました。このほか、環境問題(特に太陽光パネル設置による景観破壊への強い懸念、ゴミ問題)、防災対策(避難タワーや経路の整備)、空き家対策、行政運営の効率化や自治会活動に関する意見も見られ、市民の関心は生活基盤の維持と、将来への安全・安心に強く向けられていることがわかります。

(n=342)

カテゴリ	割合	項目	主な意見内容（具体例）
医療・福祉・子育て支援	23.0%	医療体制	産婦人科（分娩可能施設）や小児科、皮膚科等の専門医不足の解消。休日・夜間診療の確保、総合病院の誘致要望。伊勢市までの通院負担（距離・経済的）の軽減。
		高齢者支援	独居老人の見守り・寄り添い。旧保育所や空き家を活用した交流・おしゃべり・脳トレの場づくり。認知症予防や、最期まで安心して暮らせる福祉体制。
		子育て支援	雨天・猛暑でも子どもが遊べる屋内遊び場・施設の設置。高校（普通科）の維持と市外通学費の補助。給食費無償化の継続、病児・休日保育の充実。
		福祉全般	障がい者雇用の場と生活支援の充実。福祉サービスの運営改善、不適切対応の実態調査と市による監督強化。生活保護審査の適正化要望。
インフラ整備（道路・交通・生活基盤）	21.9%	道路整備	センターライン（白線）の引き直し（雨の日の視認性向上）。路面補修、歩道の確保。道路脇の雑草・樹木の伐採（大型車の通行障害・見通し改善）。街灯増設。
		公共交通	三重交通バスの減便対策、学生・高齢者向けの運行維持。免許返納後の移動手段（デマンドバスの改善、タクシー券、福祉バス）の充実。
		生活基盤	水道料金の負担軽減。防災行政無線の聞き取りやすさ改善（HP掲載、スマホ連携、内容の精査）。光回線の導入、通信状態の改善。公共トイレの設置。

問26. 今後、志摩市に特に力を入れてほしい取組や、本アンケート調査に対するご感想、ご意見などございましたら、ご自由にお書きください。（自由記載）

カテゴリ	割合	項目	主な意見内容（具体例）
雇用創出・産業振興	15.5%	雇用確保	大手企業・工場誘致、若者が地元に残れる・戻りたくなる安定した職場の創出。賃金水準の向上。50-60代の再就業機会の提供。
		一次産業	漁業・真珠養殖への再興支援（稚貝放流・磯焼け解消に向けた分析）。耕作放棄地の行政による一括管理・活用支援。担い手不足対策。
		産業振興全般	志摩産のお土産開発。新産業（抹茶生産、eスポーツ、カジノ、自転車レース等）の提案。雇用人数に応じた事業所への補助金制度。
環境・景観保全	8.1%	太陽光パネル	景観悪化、自然破壊（森林伐採・開発）への強い懸念。規模を問わない設置規制の条例制定要望。
		ゴミ問題	海岸・山林への不法投棄対策（監視カメラ設置等）。海岸漂着ゴミの処理。資源拠点ステーションの設置希望。ゴミ拾い活動の強化。
		自然環境	志摩の美しい海・自然・星空の維持。主要道路の美化、ポイ捨て禁止の啓発。
		その他	野焼き・不適切な焼却への注意喚起。とんびの餌付けによる騒音・糞害への対策。カキ殻の活用提案。
防災・安全対策	7.6%	災害対策	南海トラフ地震・津波への備え（避難タワー・高台避難路の整備）。避難所での冷暖房・ペット同伴受け入れ体制の整備。
		防犯対策	防犯灯増設（夜道が暗くて危険）。交番の増設要望、不審者パトロールの強化。
		その他安全	空き家の管理不全（倒壊、ブロック塀の落下危険）。交通マナー向上（横断歩道での一時停止）。
行政サービス・運営・財政	11.4%	行政運営/職員	窓口対応の改善（親身な対応、立ったままの対応の解消）。縦割り行政の打破、市民の声への真摯な対応。議員定数・働き方の議論。
		デジタル化	高齢者へのスマホフォロー・初歩的な講習会。LINE活用に加え、不慣れな人へのアナログな広報手段の維持。
		財政/税金	市民税・固定資産税の負担軽減。物価高への独自の生活支援（商品券等）。ふるさと納税の使途の透明化。
		情報提供	広報しまの配布漏れ改善。市政情報の積極的な発信（民間企業との連携成果、LINEの認知度向上等）。

問26. 今後、志摩市に特に力を入れてほしい取組や、本アンケート調査に対するご感想、ご意見などございましたら、ご自由にお書きください。（自由記載）

カテゴリ	割合	項目	主な意見内容（具体例）
観光振興	5.2%	戦略/方向性	音楽フェスや映画撮影特区等の大規模イベント開催。観光大使（ヤバイTシャツ屋さん等）の積極活用とSNSでの事前情報発信。Uターン・Iターン者への配慮。
		観光地整備	観光客向け駐車場の利便性向上と、地元住民の利用時無料化要望（国府、横山等）。家族向け体験施設や海釣り公園の充実。
空き家・空き地対策	4.1%	問題認識	放置空き家の倒壊危険、管理不全による景観悪化、ゴミ捨て場化への懸念。
		対策強化	解体費用の補助拡充。所有者への強力な管理・伐採指導。空き家バンクの活用。
		活用提案	移住者向け住宅、地域拠点、避難所、いこいの場としての再利用。
		その他	相続や納税負担に関する不安。空き家の庭木・雑草が公道へはみ出している問題への対処。
地域コミュニティ・自治会	2.3%	課題	自治会未加入・脱退の増加、加入者と未加入者の不公平感。役員の高齢化と負担増。
		改善提案	市職員の自治会活動への関心向上と教育。加入案内の徹底。回覧板の整理やデジタル化（廃止論含め）による負担軽減。
		その他	地域の祭り・伝統行事の継承と支援。多世代・移住者が気楽に集まれる交流の場の創出。
その他	0.9%	アンケート自体	設問数が多い・長すぎる。市政への確実な反映と結果公表。
		市への愛着	「志摩市が大好き」「住みやすい」「自然が豊か」「職員への感謝」等の好意的な意見。
		個別要望	野良猫対策（不妊手術補助の増額、地域猫）。公共入浴施設（銭湯等）の設置。婚活支援。

9. あなたご自身のことについて

あなたの性別をお答えください。（1つ選択）

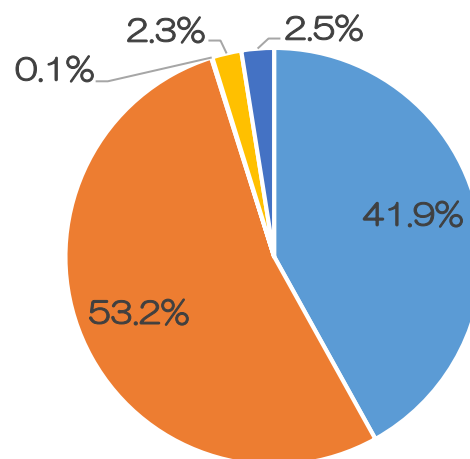
1.男性

2.女性

3.その他

4.回答しない

- 男性
- 女性
- その他
- 回答しない
- 不明・無回答



(N= 1,190)

あなたの年齢をお答えください。（1つ選択）

1. 10歳代

2. 20歳代

3. 30歳代

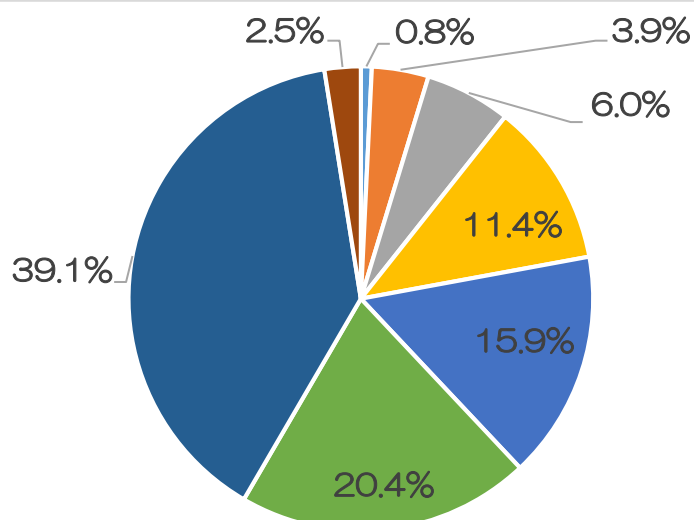
4. 40歳代

5. 50歳代

6. 60歳代

7. 70歳代以上

- 10歳代
- 20歳代
- 30歳代
- 40歳代
- 50歳代
- 60歳代
- 70歳代以上
- 不明・無回答



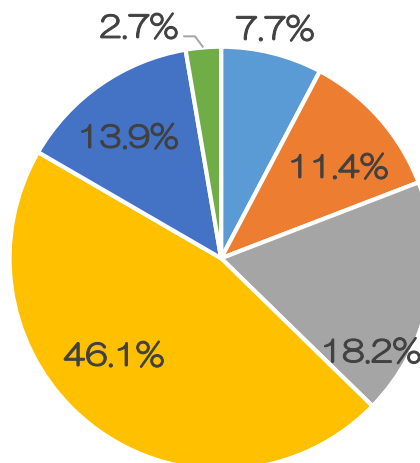
(N= 1,190)

あなたの居住している地区をお答えください。（1つ選択）

- 1.浜島町
- 3.志摩町
- 5.磯部町

- 2.大王町
- 4.阿児町

- 浜島町
- 大王町
- 志摩町
- 阿児町
- 磯部町
- 不明・無回答



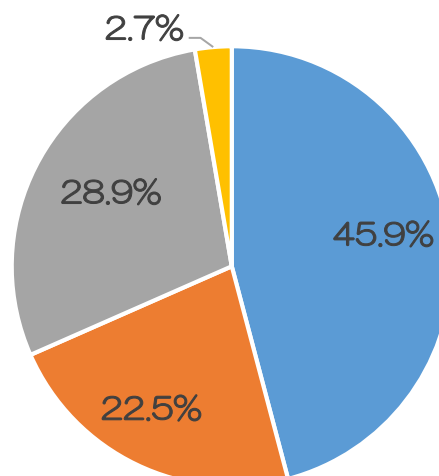
(N= 1,190)

あなたの居住している地区をお答えください。（1つ選択）※志摩市には旧5町を含む

- 1.生まれてからずっと志摩市に住んでいる
- 3.他の市町村から、志摩市に引っ越してきた

- 2.志摩市に住んだ後、他の市町村に引っ越し、再び志摩市に戻ってきた

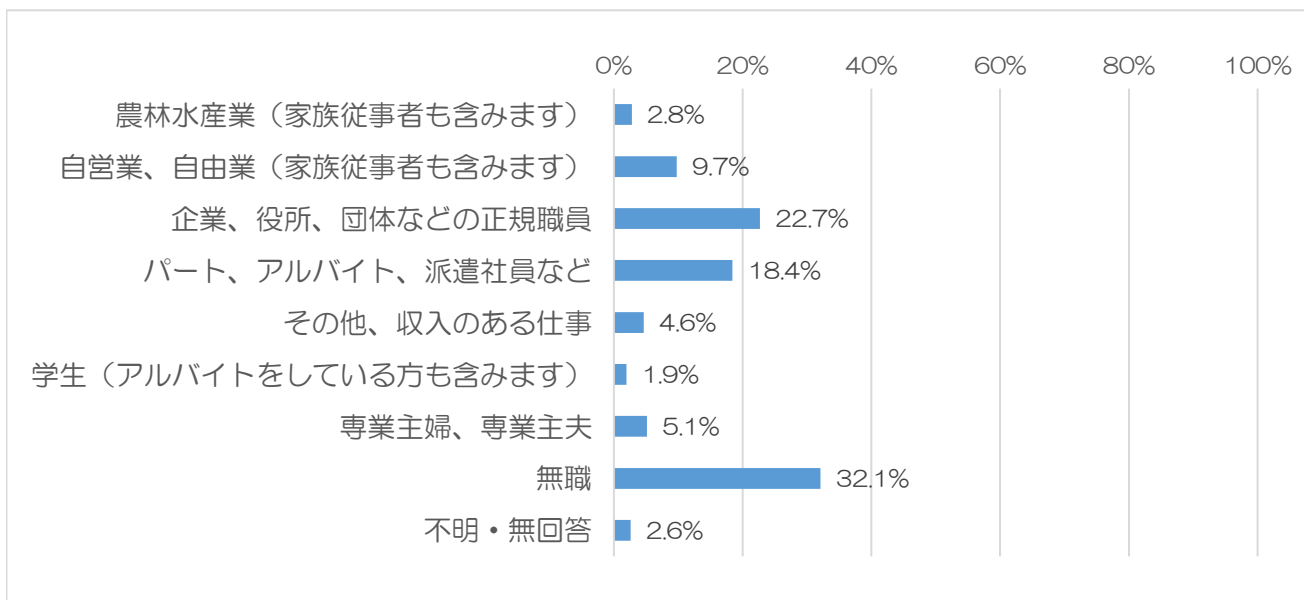
- 生まれてからずっと志摩市に住んでいる
- 志摩市に住んだ後、他の市町村に引っ越し、再び志摩市に戻ってきた
- 他の市町村から、志摩市に引っ越してきた
- 不明・無回答



(N= 1,190)

あなたの主な職業は何ですか。（1つ選択）

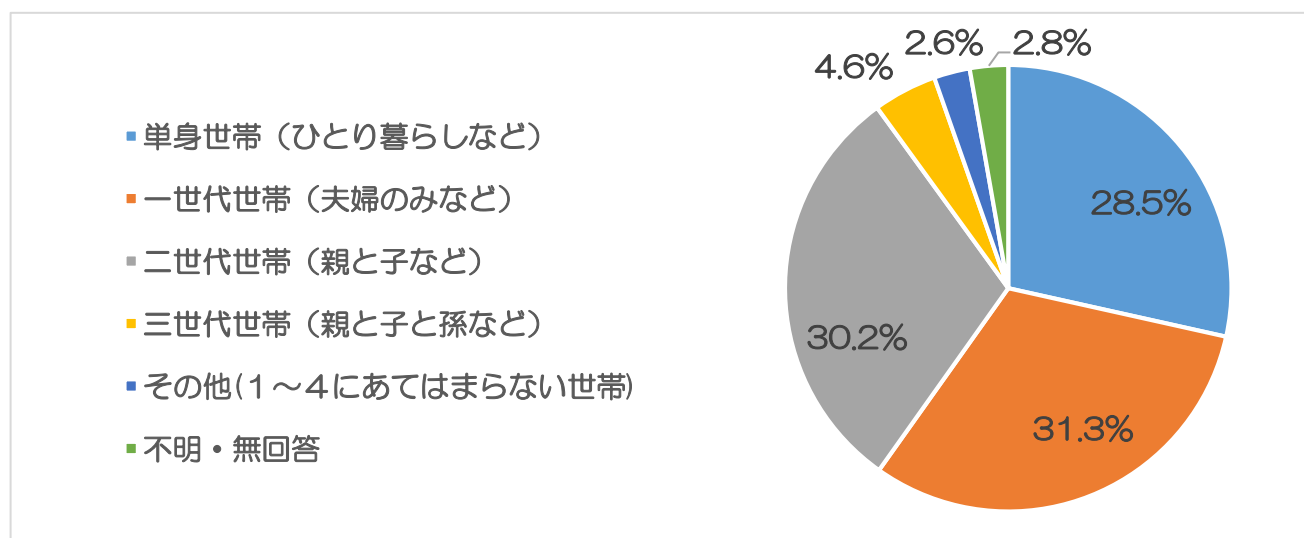
- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1.農林水産業（家族従事者も含みます） | 2.自営業、自由業（家族従事者も含みます） |
| 3.企業、役所、団体などの正規職員 | 4.パート、アルバイト、派遣社員など |
| 5.その他、収入のある仕事 | 6.学生（アルバイトをしている方も含みます） |
| 7.専業主婦、専業主夫 | 8.無職 |



(N= 1,190)

あなたの世帯構成はどれにあたりますか。（1つ選択）

- | | |
|------------------|------------------|
| 1.単身世帯（ひとり暮らしなど） | 2.一世代世帯（夫婦のみなど） |
| 3.二世帯世帯（親と子など） | 4.三世帯世帯（親と子と孫など） |
| 5.その他 | |



(N= 1,190)